

LA-CIMBALI

M200

JA

使用と設置

取扱説明書原文の翻訳



タッチスクリーン

自動プッシュボタンストリップ



コード 711-111-000 (改訂 2307)



本マニュアルの最新の電子版は、ページ下に記載されているリンク先に認証情報を使用してアクセスするとご覧いただけます。



<https://order.gruppocimbali.com/explorer/spareparts/page/login>

User ID: guest
PW: Entr@nc3

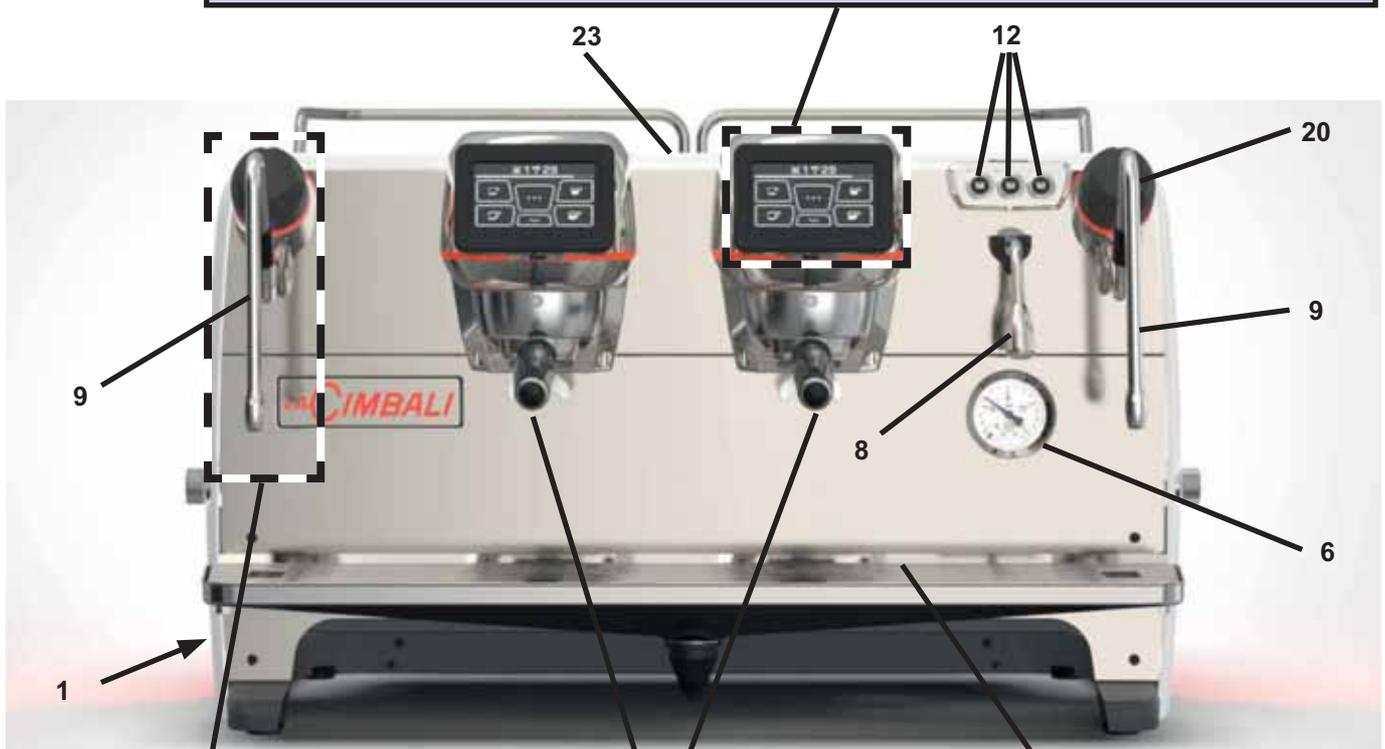
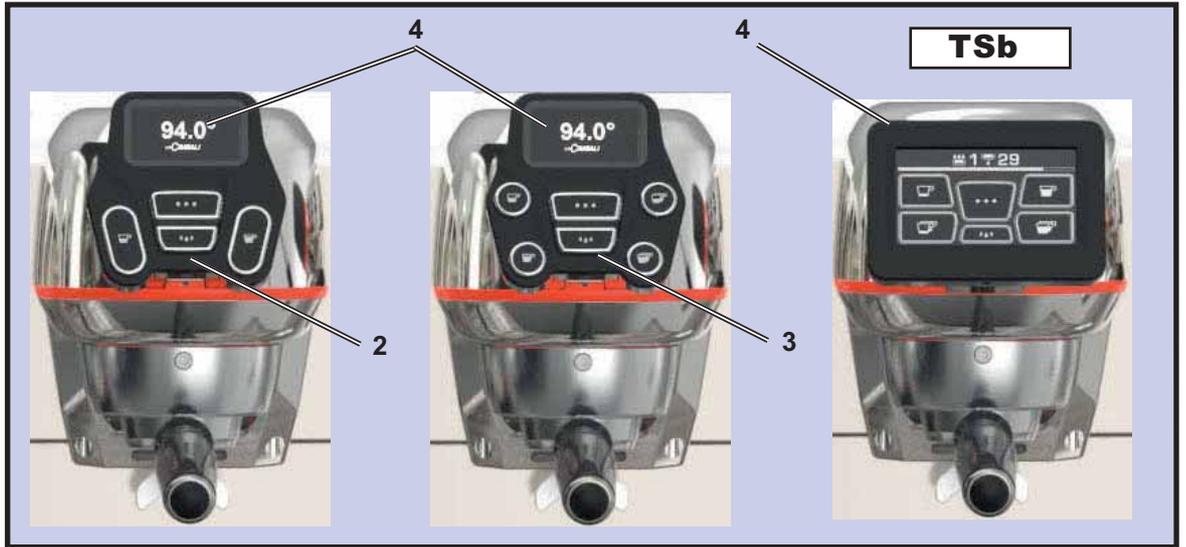


Please sign in

索引

| | ページ | | ページ |
|-----------------------------------|-----|----------------------------------|-----|
| 1. 総則..... | 5 | エコノミー | 32 |
| 2.1 輸送および取り扱い..... | 6 | 洗浄 | 32 |
| 2.2 設置規則 | 8 | ターボスチーム | 34 |
| 3. 電氣的設置規則..... | 9 | Milk (ミルク) (ターボミルク搭載バージョン) | 34 |
| 4. 水の設置規則..... | 9 | カップウォーマー | 34 |
| 5. 設置チェックアップ | 10 | コーヒーボイラー温度..... | 35 |
| 6. マシンを操作する作業者に関する規則..... | 11 | ボイラー内の水の交換 | 35 |
| 7. 注意..... | 12 | | |
| 8. メンテナンスと修理..... | 12 | カスタマープログラミング(自動プッシュボタンストリップ) | |
| 9. マシンの試運転..... | 13 | 20. カスタマー用「自動プッシュボタンストリップ」 | |
| | | プログラミングフローチャート..... | 37 |
| | | プログラミングへのアクセス方法: | 37 |
| | | 時計の設定..... | 37 |
| | | カップウォーマー..... | 38 |
| | | コーヒー選択キーメニュー | 38 |
| | | キーメニュー | 38 |
| | | コーヒーの分量 | 39 |
| | | テストパネル | 39 |
| | | お湯選択キーメニュー | 41 |
| | | 「自動学習」機能を使用した分量のプログラ | |
| | | ミング | 41 |
| | | 洗浄 | 42 |
| | | 照明 | 42 |
| | | データメニュー | 43 |
| | | カスタマーパラメータ..... | 44 |
| | | 言語選択 | 44 |
| | | サービス 時間メニュー | 45 |
| | | 日付と時刻 | 45 |
| | | 21. クリーニングとメンテナンス..... | 46 |
| | | グループバージョン | 47 |
| | | コーヒー回路 | 47 |
| | | 連続洗浄 | 48 |
| | | 同時洗浄 | 50 |
| | | 単一洗浄 | 52 |
| | | ボイラー内の水の交換 | 54 |
| | | フィルターホルダーのクリーニング | 54 |
| | | 手動/自動スチームノズル..... | 55 |
| | | スチームおよびお湯の分配パイプ | 56 |
| | | グリルとドリフトレー | 56 |
| | | 排水トレイ | 56 |
| | | 本体構造 | 56 |
| | | 22. 欠陥 - 不具合..... | 57 |
| | | 明示メッセージ | 57 |
| | | イラスト | 60 |
| | | サービスライン | 60 |
| | | | |
| 10. 日常作業..... | 14 | | |
| プログラミング / メニューアクセス | 15 | | |
| ユーザーアラート | | | |
| (自動プッシュボタンストリップのみ)..... | 16 | | |
| 照明 | 16 | | |
| コーヒーユニットの記号 | | | |
| (自動プッシュボタンストリップのみ)..... | 17 | | |
| 11. ディスプレイの記号の説明 | 18 | | |
| 12. ボイラー内の水の交換 | 19 | | |
| 13. カップウォーマー (適用可能な場合) | 19 | | |
| 14. 「タッチスクリーン」と「自動プッシュボタンス | | | |
| トリップ」のバージョン用のコーヒー分配..... | 21 | | |
| 15. ボイラーのスイッチを切る(「GTI」マシンのみ)..... | 22 | | |
| 16. マシンのカスタマイズ | | | |
| (技術スタッフにより実行できます)..... | 23 | | |
| マシンの構成..... | 23 | | |
| マシンのカスタマイズ | 24 | | |
| FLUSH (洗浄)..... | 24 | | |
| フロー制御 | 24 | | |
| BDS - バリスタドライブシステム | 25 | | |
| 17. お湯の分配 | 25 | | |
| 18. スチーム分配..... | 26 | | |
| | | | |
| | | カスタマープログラミング(タッチスクリーン) | |
| 19. カスタマー用タッチスクリーンプログラミングフ | | | |
| ローチャート..... | 28 | | |
| サービス時間メニュー | 28 | | |
| 言語選択 | 29 | | |
| カウンター | 29 | | |
| 測定機能のプログラミング | 30 | | |
| 「自動学習」機能を使用した分量のプロ | | | |
| グラミング | 31 | | |

M200

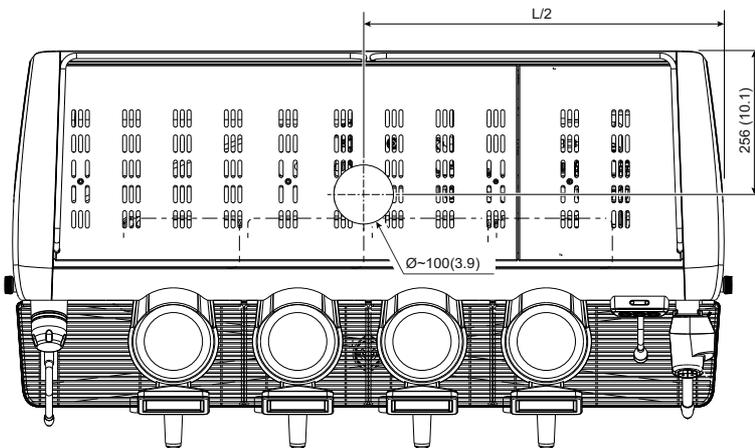
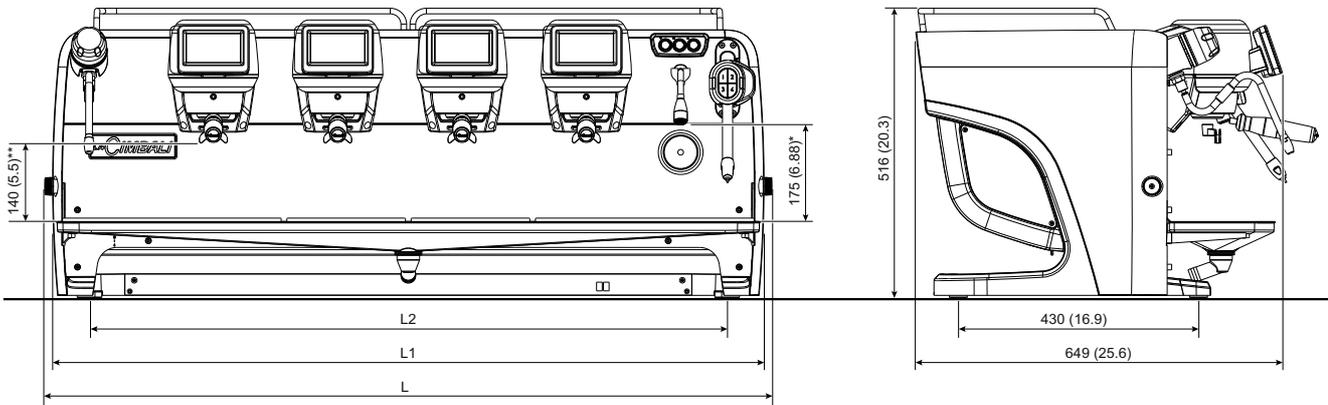


- 凡例
- 1 メインスイッチ
 - 2 4キー押しボタン
 - 3 6キー押しボタン
 - 4 グラフィックディスプレイ
 - 6 ポンプ圧力ゲージ
 - 8 お湯の出口
 - 9 スチームパイプ / ターボスチームコールドタッチパイプ(*)
 - 9a ターボスチームコールドタッチパイプ(*)
 - 11 フィルターホルダー
 - 12 お湯ボタン
 - 13 ターボスチーム / ターボミルクセレクター(*)
 - 15 トレー
 - 20 スチーム供給ノブ
 - 23 カップウォーマー
 - TSb 選択タッチスクリーン

コンポーネント - * - は一部の製品の構成のみに適用されます

M200

| | P _{max} [bar] | T _{max} [°C] | マシンのタイプ | 2グループ | 3グループ | 4グループ |
|----------|-----------------------------|----------------------------|---------|-------------|-------------|-------------|
| | | | 液体 | 容量 | | |
| サービスボイラー | 2 | 133 | 水/スチーム | 7 | 7 | 7 |
| コーヒーボイラー | 15 | 160 | 水 | 0.60 x 2 | 0.60 x 3 | 0.60 x 4 |



| ** | | * | |
|--------|-----------|--------|------------|
| pos. 1 | 75 (2.95) | pos. 1 | 110 (4.33) |
| pos. 2 | 115 (4.5) | pos. 2 | 150 (5.9) |
| pos. 3 | 140 (5.5) | pos. 3 | 175 (6.88) |

| DIMENSIONI / DIMENSIONS | | | | |
|--------------------------|--------|-------|-------|-------|
| | | 2 gr. | 3 gr. | 4 gr. |
| L | mm | 887 | 1087 | 1287 |
| | inches | 34.9 | 42.8 | 50.6 |
| L1 | mm | 859 | 1059 | 1259 |
| | inches | 33.8 | 41.7 | 49.6 |
| L2 | mm | 740 | 940 | 1140 |
| | inches | 29.1 | 37 | 44.9 |
| Peso netto Net weight | Kg | 70 | 92 | 105 |
| | pounds | 154 | 203 | 231 |

記号



一般的な警告



警告: 電気的な危険



警告: 手を挟む危険があります



警告: 高温の表面



環境保護



取扱説明書のこれらのページは、マシンを操作する人を対象にしたものです。



取扱説明書のこれらのページは、認可を受けた有資格技術担当者を対象にしたものです。



1. 総則



マシンを使用または取り扱う前に、このユーザーマニュアルの警告および規則を注意深くお読みください。これは、マシンを操作する時の安全と衛生に関する重要な情報を提供するものです。簡単に参照できるように、この小冊子を手元に置いておいてください。

- 機器は、お湯またはスチームを使用して、エスプレッソコーヒーおよびホットドリンクを作ること、およびカップを暖めること専用設計されています。その他の使用はすべて非正規な使用と見なされます。
- マシンは、その使用に伴う危険を理解しており、しっかりしたトレーニングを受けたスタッフのみが使用できる場所に設置しなければなりません。
- マシンはプロによる使用専用です。
- この機器は、身体的、知覚的、または、精神的な能力が不足している人、あるいは経験や知識が欠如している人（子どもを含む）によって使用されることを意図されていません。ただし、この機器の安全性について責任のある人によって機器の使用が監督されている場合や、指示を受けている場合を除きます。
子どもがこのマシンで遊ぶことがないよう、常に監督を受ける必要があります。
未成年者が使用する場合、成人の監督があるなしにかかわらず、地元の雇用法に違反してはいけません。
- 機器の使用中は必ずだれかがそこにいるようにしてください。
- 機器を戶外で使用してはいけません。
- 温度が氷点以下に下がる可能性のある室内で機器を保管する場合は、ボイラーおよび水回路チューブを空にしてください。
- 大気中の物質（雨、太陽、および寒さ）に機器をさらさないでください。
- 噴流で機器をクリーニングしないでください。
- 騒音：測定された音圧レベル 84.4 dB(A) ± 2.5 dB。
- 電源コードが破損した場合、認可された有資格技術者のみ交換することができます。
- マシンの使用が不適切である場合、あるいは上記以外の目的のために使用した場合、危険の原因になることがあります。メーカーは、機器の使用が不適切であるために引き起こされた損害に対して責任を負いません。



警告

設置、分解、および調整は、認可された有資格技術者が行わなければなりません。

このマニュアルの警告および規則は、マシンの安全な設置、使用およびメンテナンスに関する重要な情報を提供するものですので、注意深くお読みください。

簡単に参照できるように、この小冊子を手元に置いておいてください。

2.1 輸送および取り扱い

梱包

- マシンは適切な内部保護が付いた頑丈な段ボールのパッケージで配達されます。パッケージには、機器の取り扱いおよび保管時に従うべき規則を示す標準的な記号が使用されています。
- パッケージの指示に従って輸送する必要があります。また、細心の注意を払って取り扱い、いかなる種類の衝撃も避けなければなりません。
- 大気中の物質（雨、太陽、および寒さ）にマシンをさらさないでください。

受領時の確認

- 機器の受領時に、輸送書類がすべて正確であることを注意深くチェックしてください（パッケージのラベルと照らし合わせる）。
- オリジナルの梱包が破損していないことをチェックしてください。
- 梱包用材料から機器を取り出した後、機器とその安全装置が完全な状態であることを確かめてください。
- 梱包材料（ビニール袋、ポリスチレン発泡体、ステーブルなど）は潜在的な危険性があるので、子どもの手が届かないようにしておいてください。

梱包材料の廃棄に関するアドバイス



梱包材料はエコ対応でリサイクル可能です。環境保護のため梱包材料は単なるゴミとして捨てるはいけません。地元の規則に従い回収/廃棄物処理センターに持ち込んでください。

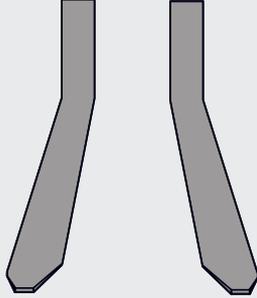
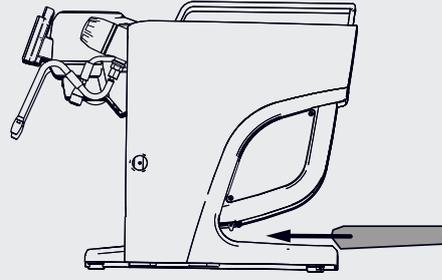
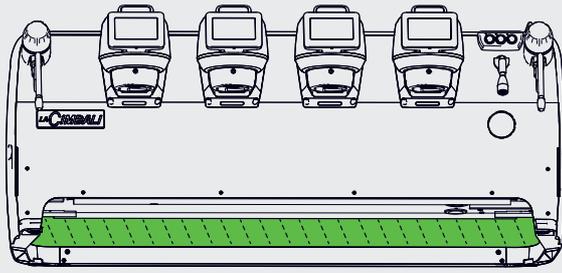
取り扱い



機器の移動責任者は、重量物を移動させことに伴う危険を熟知している必要があります。機器を注意深く移動させます。可能な場合は適切なリフティング機具を使用してください（フォークリフトなど）。



フォークリフトのフォークは以下に示されたハッチ付きのエリアに適合する必要があります。

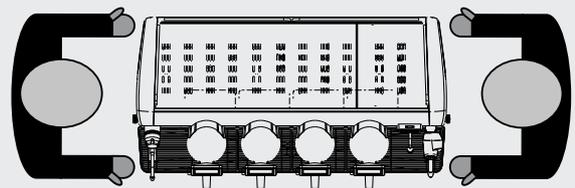
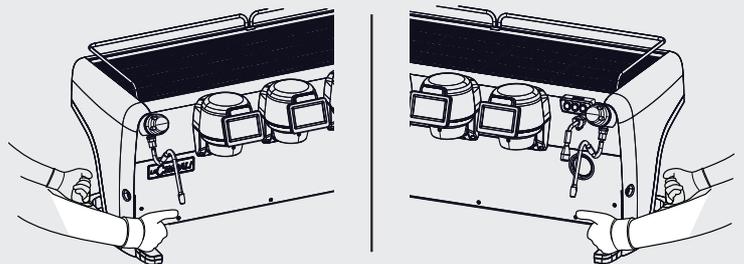
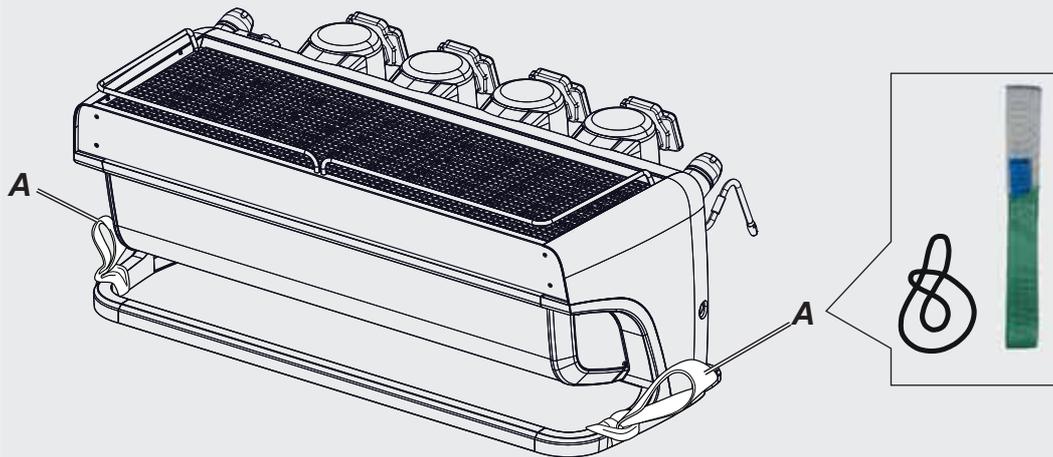


手で機器を移動させる場合は、以下を確認してください。

- 機器の重量、および取り扱いがどの程度困難かに応じて、この移動に十分な人数の人が作業できること。
- 必要な安全機具 (靴/手袋) を常に使用すること。

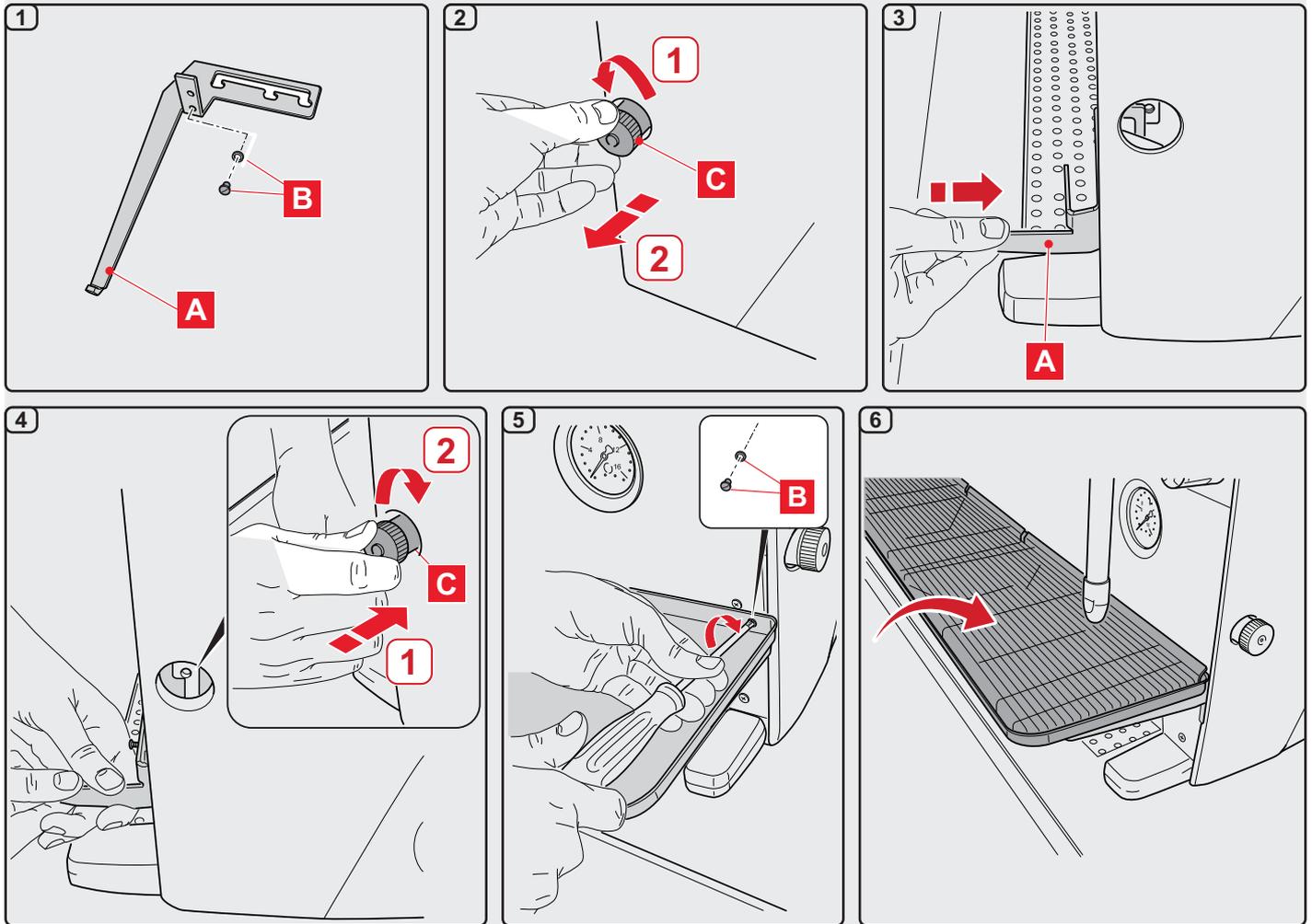
マシンのオリジナルのパッケージには、持ち上げ用の2つのハンドル (A) があり、それらは特定の場所に既に挿入されています。

これらのハンドルを図で示されているように最初の移動の時に使用してください。次に、それらを取り外して、将来の移動で使用してください。





カップトレイの配置



2.2 設置規則

- 機器のプラグを入れる前に、銘板上の情報（電圧など）が電気システムおよび水道システムのそれと一致することを確認めます。
- 電源コードの状態をチェックします。破損している場合、交換しなければなりません。
- 完全に、電源ケーブルを伸ばします。
- コーヒーマシンは、壁とカウンターから少なくとも20mm離れ、平らで安定した表面に配置する必要があります。マシンの最も高い表面（カップウォーマートレー）が少なくとも1.2メートルの高さに来るということを念頭においてください。付属品用の棚が近くにあることを確認めます。
- 室温は10 ~ 32 (50 F ~ 90 F) の範囲でなければなりません。
- 電気コンセント、水道の接続部、およびサイフォンの排水管は、すぐ近くになければなりません。
- 噴流で清掃される部屋（台所）には、マシンを設置しないでください。
- 開口部、換気部、および排熱部を塞がないでください。
- 機器を戸外に設置しないでください。
- 爆発の危険性がある環境の中でマシンを設置したり使用したりしないでください。
- 可燃性の物質があるところにマシンを設置しないでください。



3. 電氣的設置規則

設置に先立ち、接触部の間に回路遮断器が設置されていることを確かめてください。これはカテゴリIIIの過負荷があった場合に完全に切断することができ、30mAの漏電から保護するものです。設置規則に従ってメイン電源に回路遮断器を設置する必要があります。

電源が適切に作動しない場合、機器は一時的な電圧降下を引き起こす場合があります。

施行されている電気の安全に関する法律に従って機能している接地システムに正確に接続されている場合にのみ、この機器の電氣的な安全が保証されます。この基本的な安全要件を確認しなければなりません。疑問がある場合は、有資格電気技術者にシステムの検査を依頼してください。メーカーは、電源の接地システムを使用しないことにより発生する損害に責任を負いません。

アダプター、複数のプラグ、延長コードを使用しないでください。

接続のタイプおよび電圧が銘板の情報に一致するかどうかチェックしてください。イラストの章の図1を参照してください。

この機器は、Wi-Fiアライアンス (証明書ID: WFA97858)

4. 水の設置規則

水の要件

コーヒーマシンで使用される水は、人の消費に適したものでなければなりません (施行されている法律と規則を参照)。

マシンの水取り入れ口をチェックし、pHと塩化物の値が現行法に準拠しているかどうか点検してください。

値が制限内にならない場合、適切な水処理装置を追加しなければなりません (地元の法律に準拠し、マシンと互換性があるものを使用)。

8 f (4.5 g) を超える硬度の水を使用する場合、検出された硬度およびマシンの使用状況に応じて特定のメンテナンスプランを実行する必要があります。

警告

設置には納入された部品のみを使用してください。他の部品が設置されている場合、その部品は新品でなければなりません (水道接続用の未使用のパイプおよびガスケット)。また、人が消費するのに適している水道との接続に許可されたものでなければなりません (現行の地域の規則に準拠していること)。

水道との接続

機器を平面に置き、脚部を調節、固定し、安定させます。

設置国の衛生、水の安全性、および汚染防止の各法律に従い、イラストの章の図2で示されている通り水道接続部をつないでください。

注: 水圧が6バール以上に上昇する場合は、減圧弁を2~3バールに設定して設置してください。イラストの章の図3を参照してください。

排水チューブ: 検査とクリーニング用のサイフォン付き排水チューブの端部を排水管に入れてください。

重要排水チューブの曲がり方がイラストの章の図4で示されているような曲がり方をしてはいけません。



5. 設置チェックアップ



警告: 設置後、マシンが正常に動作していることを点検してください(「設置モジュール C」を参照)。

水道との接続

- 接続部またはチューブから漏れがない。

機能

- ボイラーと運転圧が正常である。
- 圧力計が適切に作動している。
- 自己平準化装置が適切に作動している。
- 膨脹弁が適切に作動している。



警告: マシンの設置が完了して使用の準備ができたなら、作業者がマシンの使用を開始する前に、下記の指示に従って内部のコンポーネントを洗浄してください。

グループ

- グループ (コーヒー無し) にフィルターホルダーを取り付けます。
- 各グループに約1分間水を分配させます。

お湯

- 少なくとも5リットルの水が使用されるまで、連続してお湯を (適切なボタンを使用して) 分配します。

スチーム (ターボスチーム付きを含む)

- 適切なボタンを使用して、約1分間ノズルからスチームを分配します。



6. マシンを操作する作業者に関する規則

起動前



警告: マシンの操作を開始する前に、下記の指示に従って内部のコンポーネントを洗浄してください。

この手順は少なくとも1日1回、およびマシンを8時間以上操作していない場合に繰り返す必要があります。

グループ

- グループ (コーヒー無し) にフィルターホルダーを取り付けます。
- 各グループに約1分間水を分配させます。

お湯

- 「ボイラー中の水の交換」のセクションの記載に従い、水を交換します。

スチーム (ターボスチーム付きを含む)

- 適切なボタンを使用して、約1分間ノズルからスチームを分配します。

操作中

スチーム分配 (ターボスチーム付きを含む)

- ドリンク (水、ミルクなど) を熱する前に、少なくとも3秒間スチームノズルを開き、水滴が除去されるようスチームを逃します。

コーヒー分配

- マシンを1時間以上使用していない場合、お湯を使用する前に液体を約100cc分配し、廃棄します。

お湯の分配

- マシンを1時間以上使用していない場合、お湯を使用する前に液体を約200cc分配し、廃棄します。

コーヒー回路のクリーニング

- これらの回路のクリーニング方法は、ユーザーマニュアルの該当のセクションをお読みください。



7. 注意



やけどの危険

この記号でマークされたエリアは高温になります。これらのエリアの近くでは、細心の注意を払う必要があります。



WARNING: Hot surface
 ACHTUNG: Heisse Oberfläche
 ATTENTION: Surface chaude
 ATTENZIONE: Superficie calda

全般

メーカーは、コーヒーマシンの不適切な使用、または意図された目的以外の使用により物品または人へ損害が生じた場合は、その責任からすべて免責されるものとします。

濡れた手や裸足の状態でコーヒーマシンを操作しないでください。

子ども、あるいは正しい使用法について指示を受けていない人が機器を使用することがないようにしてください。

やけどの危険

手やその他の身体の部位がコーヒーを分配するグループに近づいたり、あるいはスチームおよびお湯のノズルの近くに来ることがないようにしてください。

カップウォーマートレー

コーヒーマシンで使用できるコーヒーカップ、カップ、およびグラスだけをカップウォーマートレーに置いてください。

コーヒーカップをカップウォーマートレーに置く前に、完全に水分を取っておいてください。

その他の物をカップウォーマートレーに置かないでください。



マシンの片付け

マシンが長期間使用されない場合（夜間に営業行っていない場合）、以下の操作が実行されます。

- 関連の章に指示されている通りにクリーニングを行ってください。
- プラグを外すか、あるいはメインスイッチをオフにします。
- 給水栓を閉じます。

注:自動でオンオフが切り替わるプログラムでできるマシンについては、この機能が有効化されている場合にのみ、電源をオンのままにしておくことができます。

これらの安全対策が遵守されない場合、不具合、器物の破損、および/もしくは人および/もしくは動物の負傷に対するすべての責任からメーカーは免責されるものとします。

8. メンテナンスと修理

マシンが適切に作動しない場合は、マシンを止め、メインスイッチをオフにし、サービスセンターに電話をしてください。

電源コードが破損している場合は、マシンのスイッチを切り、サービスセンターに交換を依頼してください。



操作中の安全を確保するためには、必ず以下の作業をおこなう必要があります。

- メーカーのすべての指示に従う。
- 認可を受けた有資格技術者に、定期的に安全装置がすべて完全に適切に機能していることをチェックしてもらう（購入から3年以内に最初の検査を行い、その後は毎年行う）。



警告

無資格者がメンテナンスをするとマシンの安全性が損なわれたり、現在の規制への違反が生じることがあります。

修理は、有資格の認可された技術者だけが行うようにしてください。

警告

メーカーが保証した純正スペアパーツのみを使用してください。

純正スペアパーツを使用しない場合、メーカーの保証が失効します。

警告

メンテナンス後、ユーザーマニュアルの関連のセクションで示されている通りに設置のチェックアップを行ってください。



9. マシンの廃棄

電気機器は通常の一般廃棄物として処分することができません。



適切に分別して廃棄物进行处理してください。これにより、マシンを環境に優しい方法でリサイクル、処理、処分することができます。

これにより、環境と健康に対する悪影響を回避し、マシンの製造用素材の再利用やリサイクルを促進します。

現行法に準拠せず、不適切な方法で電気機器を処分すると、行政上の罰金および刑事上の制裁を受けることになります。

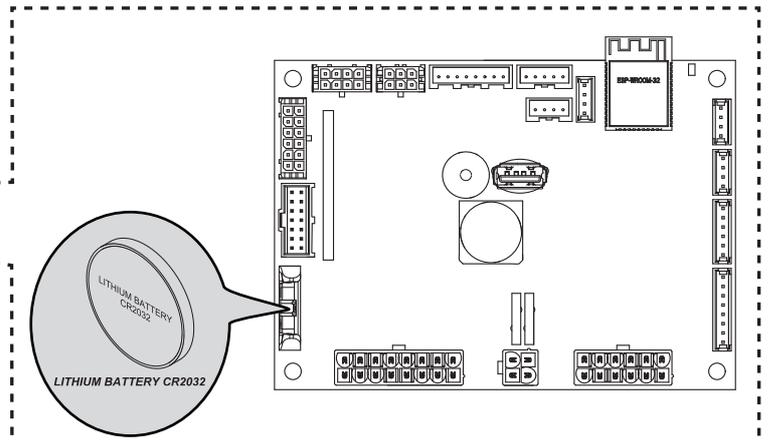
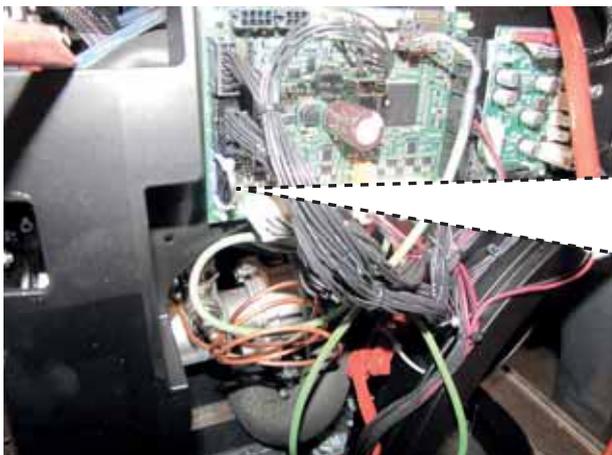
環境を保護するため、地域の現行法に従って解体してください。

環境情報

この製品には、最終生産物として完全に密封された再充電できないリチウム（化学成分:リチウム二酸化マンガン）ボタン電池が含まれています。

電池メーカーの指示、および地元や国の処分とリサイクルの規則に従ってボタン電池を処分してください。

電池の位置





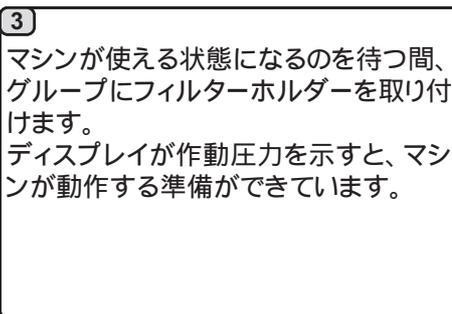
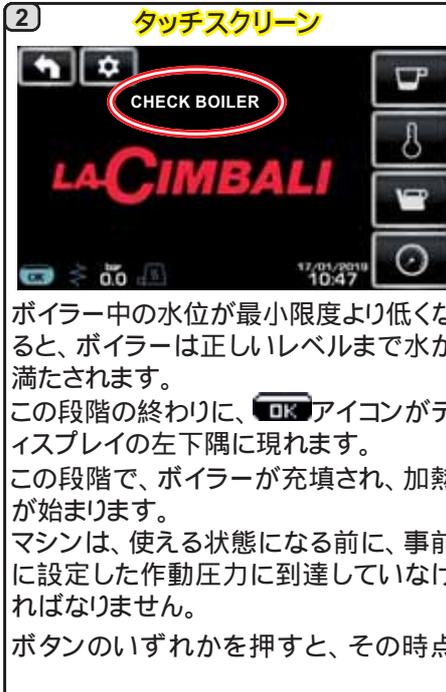
使用

10. 日常作業



「マシンを動かす前に以下について確認してください。」

- 主電源スイッチがオンになっている。
- 主給水栓がオンになっている。」



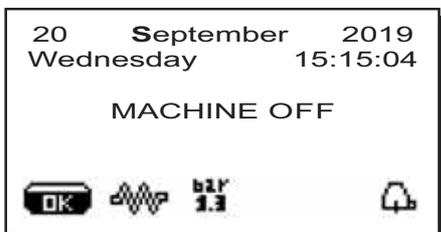
(自動プッシュボタンストリップのみ)

自動スイッチオフ/スイッチオン

プログラムされた時刻にマシンをスイッチオフ、スイッチオンするように設定できます。「サービス時間メニュー」セクションはスイッチオン時刻「ON time (ONの時刻)」およびスイッチオフ時刻「OFF time (OFFの時刻)」を設定します。
サービス時刻がプリセットされた場合、マシンは選択された時刻に自動的にスイッチを切ります。それが自動的にシャットダウンしている間に、下記のメッセージがディスプレイに表示されます。

注: マシンが自動的なオン/オフモードで操作している時は、マシンのスイッチをオフにするのにバックライトメインスイッチを使用してはいけません。これを使用すると、マシンは再度自動的にスイッチオンになることができません。

マシンは、選択した時刻に自動的にスイッチをオンにします。ディスプレイに表示された画面およびマシンによって実行された操作は「手動スタートアップ」セクションで説明されます。





省エネモードでスイッチオフ

シャットダウンしている間に、マシンの省エネモードを有効化することができます。

このモードで操作中、マシンの加熱エレメントは完全には無効化されません。そして、ボイラー圧力が0.2バールに保持されるようにしされます。

注: 省エネモードでオフにした後の日が「休業日」として設定されると、マシンは完全に24時間オフになります。そして、休業日の終わりにボイラーの圧力を0.2バールに維持するように戻ります。

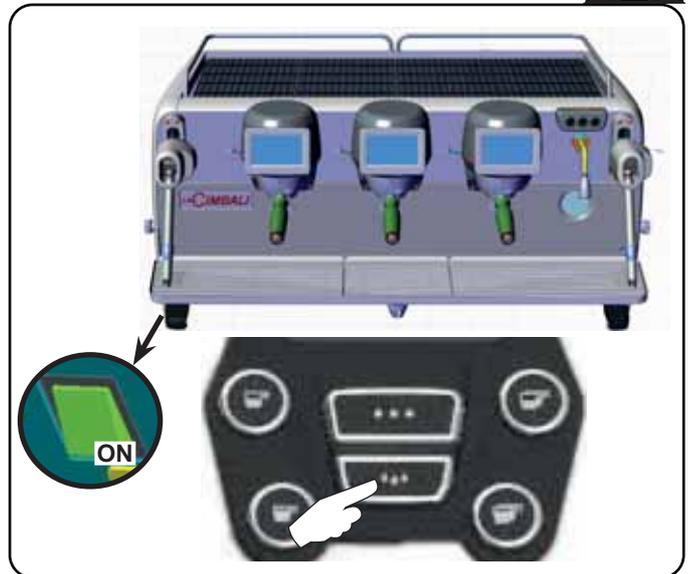
このモードを有効化するには「サービス時間メニュー」セクションを参照してください。

省エネモード

また省エネモードは手動でも有効化できます。これは ▶ ボタンを数秒間押し下げて、次に ◀ ボタンを約8秒間押し下げて行います。

この段階中:

- ボイラー圧力が1.2バール以上の値に設定されている場合、圧力は0.8バールまで低下します。
 - ボイラー圧力が1.2バール以下の値に設定されている場合、圧力は設定値の0.4バール以下まで低下します。
- いずれかの分配ボタンを押して省エネモードを終了し、マシンの作業段階に戻ります。



強制スイッチオン

コーヒー分配キーのうちの1つを押してマシンのスイッチを強制的にオンにします。

注: マシンを強制的にオンにしてもプログラムされたオン/オフの時刻は変更されません。

注: この時点では、次のスイッチオフの時刻が来るまでは、マシンはオンのままになります。

プログラムされていた通りにマシンを直ちにスイッチオフモードに戻すには、バックライトメインスイッチを使用してスイッチをオフにし、再度オンにします。

プログラミング / メニュー アクセス

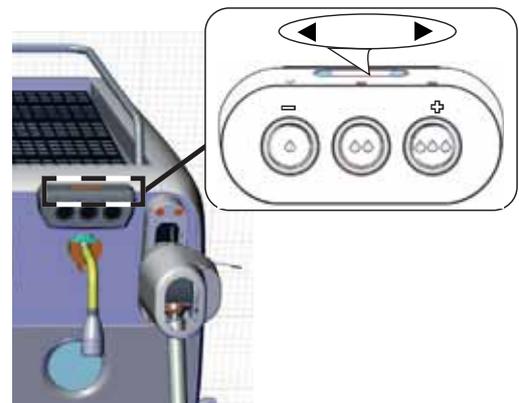
自動プッシュボタンストリップ

▶ を押し、マシンのプログラミングメニューにアクセスします。

```

* CUSTOMER PROG.
  CUP-WARMER
  KEY MENU
  WATER
  SELF LEARNING
  WASHES
  
```

OK [Icon] b2r 1.3



タッチスクリーン

アクセスは [Gear Icon] キーを押すことで可能です (「コーヒー分配」メニューの右手ユニットのみで)。アイコンは異なる色に変わります。



白色: 通常の操作モード。



黄色: ユーザーの介入を要求するメッセージを表示 (例えば、洗浄要求など)。



赤色: エラーメッセージ





注:アラートが生じた場合、点滅する  白いアイコンが現れ、ユーザーに介入の必要があることを知らせます (例えば、洗浄要求など)。



照明

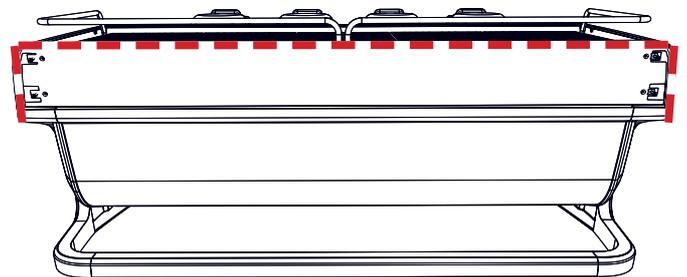
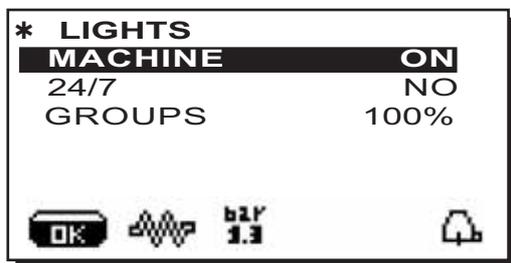
マシンの後部に赤色照明があり、マシンが始動した時に有効化できます。

自動プッシュボタンストリップ

▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル (黒線) を置き ▶キーを押します。



次のメッセージがディスプレイに表示されます。



このメニューでは、マシンの照明を調整します。特に、以下の照明を調整します。

- Machine (マシン)(後部照明)。
- 24 / 7 (永続的照明)。
- Group (グループ)(グループ照明)。

▲と▼キーを使用し、値を設定します。
変更は、入力されたデータが **「OK」** キーで確認された後で適用されます。

後部照明は調整できません。唯一のオプションはオン (マシンが始動した時に照明がオンになります) またはオフのみです。

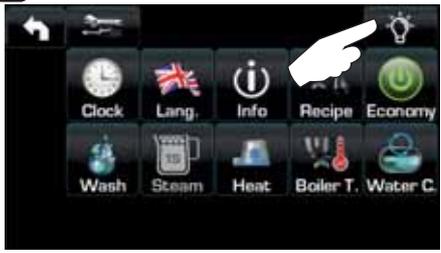
注: 連続的な照明 (1日24時間、1週7日) は、▲と▼キーを使用することにより有効化することができます。



タッチスクリーン

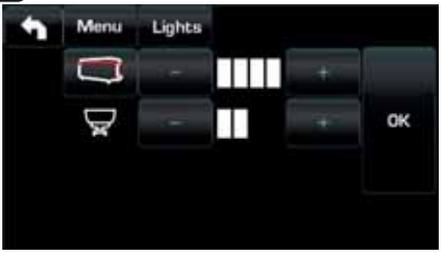
プログラミングアイコン  を押します。

1



 アイコンを押します。

2



このメニューでは、マシンの照明を調整します。特に、以下の照明を調整します。

- 後部LEDバー 
- グループ照明 

 と  キーを使用し、値を設定します。

入力したデータを  アイコンで確認すると変更が適用されます。

後部LEDバーは調整できません。スイッチによるオンオフができるのみです  (マシンが始動した時にスイッチがオンになります) 。

注: 連続的な照明 (1日24時間、1週7日) は、 アイコンを押すことにより有効化することができます。

24/7  アイコンが現れると、この機能がアクティブになります。

コーヒーユニットの記号 (自動プッシュボタンストリップのみ)




 **94.0°** ボイラー温度指示。

 **4** 予備抽出段階、記号  と相対的持続時間で表示。

 **25** 分配段階、記号  と相対的持続時間で表示。

 操作の合計進捗状況を示すバー

 このアイコンはコーヒーボイラーのスイッチがオンになった時に現れ、設定温度に到達したことを示します。

 このアイコンはコーヒーボイラーの温度が上がっていることを示します。



11. 説明表示記号

水位

 この記号はボイラーの水位を示します。

 充填段階では、アイコンの底部が点滅します。最適なレベルに到達したら、記号がこのように現れます。

 OK

加熱エレメント

 この記号は、加熱エレメントが有効化されて機能していることを示しています。加熱エレメントを通り抜け、太くて光るフローは、電気的加熱がオンになっていることを示します。

ボイラー圧力が設定値に達すると、アイコンはこのように見えます 

 これは、ボイラー加熱エレメントが無効化されたことを示します。

 注: 顧客は電気的加熱のスイッチをオンオフできません。

オン/オフ機能がプログラムされている場合、電気的加熱は自動的に行われます。

ボイラー圧力

 この記号はボイラーの圧力値を示します。

 のアイコンを押すと、圧力計がアナログで表示されます。ディスプレイには次のように表示されます。



 のアイコンを再度押すと、通常が表示モードに戻ります。

カップウォーマー

 これらの記号は、カップウォーマーに現在選択されている出力を示します。

WI-FI

 Wi-Fiモジュールがマシンにある場合、この記号がディスプレイに表示されます。

BLUETOOTH

これらの記号はBluetoothによる通信を示しています。

-  - 白のアイコンは、マシンにBluetoothモジュールがあることを示しています。
-  - 青い背景の白いアイコンは、マシンがBluetoothグラインダー/ディスペンサーと通信していることを示します。

USB

 USBのペンドライブが接続されると、この記号がディスプレイに表示されます。

SD

 このアイコンは、マシンのCPU基板にmicroSDメモリカードがあることを示しています。

支払いシステム

このアイコンは、マシンが支払いシステムのインターフェースに接続されており、それに応じて動作するように設定されていることを示します。

したがって、分配はこの支払いシステムの承認の対象になることがあります。

-  - 赤いアイコンは、キャッシュシステムが処理を拒否していることを示します。
-  - 青いアイコンは、キャッシュシステムが処理を承認していることを示します。

フロー制御 (使用中の場合のみ)

このアニメーションのアイコンが点灯した場合、グラインダーを締めるか緩めかして、コーヒーの容量が正しいパラメーターに戻るようグラインダー/ディスペンサーを調整する必要があります。

表示されるアイコンは次の通りです。

 これは、グラインダーを緩める必要があることを表します。
(コーヒーのフローは基準未満)。

 これは、グラインダーを締め付ける必要があることを表します。
(コーヒーのフローは基準を上回っている)

注:アイコン (1または2)の隣の数字は、調整しなければならないグラインダー/ディスペンサーを指定します。
アイコンは、レベルシンボルの代わりにディスプレイに表示されます。

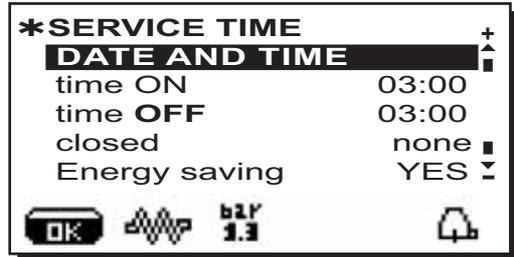
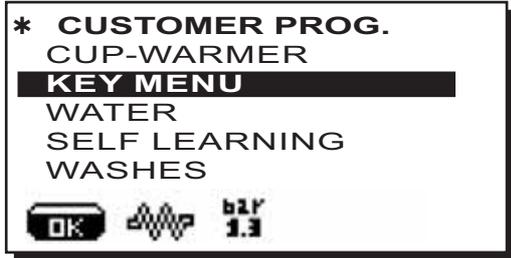


12. ボイラー内の水の交換

自動プッシュボタンストリップ

プログラミングを開始するには、▶キーを押します。ディスプレイに下記のメッセージが表示されます。

線「サービス時間」で▶キーを押すと、ディスプレイが下記を表示します。



▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します Change (変更)。

タッチスクリーン

1

以下のメッセージが表示されます。「水の交換」。ボイラーからの水がお湯のノズル(総容量のおよそ60~70%)から流出します。分配は自動的に止まります。この手順後、マシンは通常の機能に戻り、ボイラーには新鮮な水が補充されます。

2

アイコン  を押します。

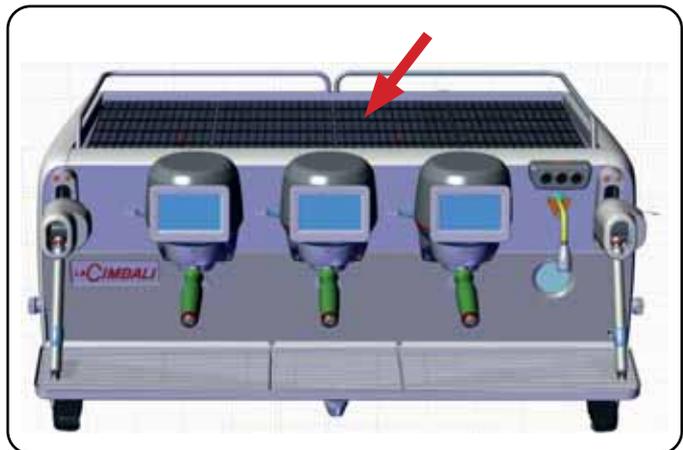
 ボイラーの水は少なくとも1日に一度交換しなければなりません。またボイラーの水も水のボタンのうちの1つを数秒間押し下げることによって変更できます。注:「水交換」機能は水技術者が設定時刻にプログラムできます。この場合、リクエストメッセージが設定時刻に表示されます。そして水の変更のサイクルは中断できません。この機能に関する詳細情報は、「CUSTOMER PROGRAMMING / Wash (カスタマープログラミング/洗浄)」の章に記載されています。

13. カップウォーマー (適用可能な場合)

 注意:どのようなタイプの布であれ、布でカップウォーマートレーは覆わないでください。

マシンには、カップを保管するためのカップウォーマートレーがあります。コーヒーマシンで使用できるカップとグラスのみをカップトレイ上に置きます。その他の物をトレイに置かないでください。カップは、トレイに置く前に完全に乾かしておきます。

注:カップウォーマートレーの加熱は、自動スイッチオフの段階でオフになります。マシンをスイッチオフにした時点でオンであった状態は、次にマシンが自動でスイッチオンされた時に回復します。ECONOMY (エコノミー) モードを有効化すると、カップウォーマーは自動でLevel 1 (レベル1) にセットされます。





自動プッシュボタンストリップ

1

*** CUSTOMER PROG.**
CUP-WARMER
KEY MENU
WATER
SELF LEARNING
WASHES

OK b1P 1.3

加熱レベルを選択します。

2

*** CUSTOMER PROG.**
CUP-WARMER
KEY MENU
WATER
SELF LEARNING
WASHES

OK b1P 1.3

追加の変更は ▶ キーを使用して行うことができます。

3

- = 最大電力記号
- = 中位電力記号
- = 最小電力記号
- 記号なし = OFF

タッチスクリーン

1

アイコン を押します。

2

希望するキーを押し、カップヒーターの出力を変更します。 アイコンを押すと前のメニューに戻ります。



14. タッチスクリーンと自動プッシュボタンストリップを使用してコーヒーを分配

事前の操作

フィルターホルダーを外し、先に使用したコーヒー粉を空にしてください。1回分の挽いたコーヒーでフィルターホルダーを満たすか（円錐形のフィルター付きの1カップ用フィルターホルダーの場合）、あるいは2回分の挽いたコーヒーでフィルターを満たします（円筒形のフィルター付きの2カップ用フィルターホルダーの場合）。グラインダーのコーヒープレスまたはマシンに付属のプレスで、フィルターホルダーの中に挽いたコーヒーを均等に押し込みます。

挽いたコーヒーを除去するため、フィルターの縁部をクリーニングします。

ユニットにフィルターホルダーを取り付けてしっかり締め、1個か2個のカップをフィルターホルダーのデリバリースパウトの真下に置きます。



コーヒーの分配が完了するまで、コーヒーフィルターを取り外さないでください。

1

希望の分量に対応するコーヒー分配キーを押します。

2

抽出段階が始まります。☕の記号および持続時間がグループのディスプレイに表示されます。

抽出が終わると分配が始まります。☕の記号および持続時間が表示されます。

3

設定された分量に達したら、分配は自動的に止まります。

スタンバイモードに戻る前に、タッチスクリーンが数秒間、合計分配持続時間および抽出段階持続時間のパラメータを表示します。

4

連続分配を行うには、☕キーを押します。

分配は、一定量の分配が連続分配に関わらず、いつでも☕キーまたはその他の分量キーを押して中断することができます。

注:カスタマープログラミングが有効化されていると、☕キーは [分量決め済み] としてプログラムすることができます。



15. ボイラーの停止

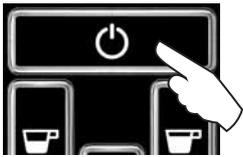
タッチスクリーン

1



ボイラーのディスプレイの温度を押します。

2



ボイラーのディスプレイで、の表示を押します。
注: 数秒以内に押さなかった場合、ボイラーは通常の機能に戻ります。

3



ユニットのボイラーが無効化されます。ディスプレイの任意の場所を押し、通常の機能に戻ります。

自動プッシュボタンストリップ

1



数秒間  ボタンを押し下げてください。

2



コーヒーグループがスタンバイモードになります。

3



さらに60秒間使用をしないと、コーヒーグループはオフになりディスプレイが消えます。
ボタン (  ) のうちのどれでも2回続けて押すと、通常の機能に戻ります。



16. マシンのカスタマイズ (技術スタッフにより実行できます)

マシンの構成

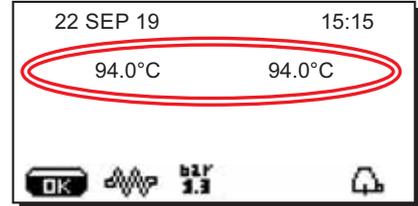
自動プッシュボタンストリップ

マシンは下記の2つの構成で利用可能です。

- A
- GTI



A



GTI

タッチスクリーン

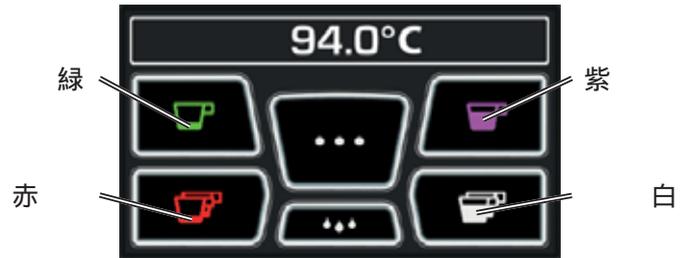
マシンは、分配と「フラッシュ」ボタンのセットアップで様々な構成に調整することができ、希望に応じて分配することができます。





マシンのカスタマイズ

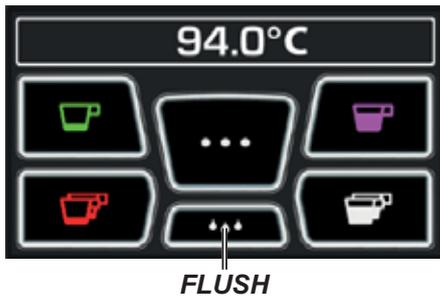
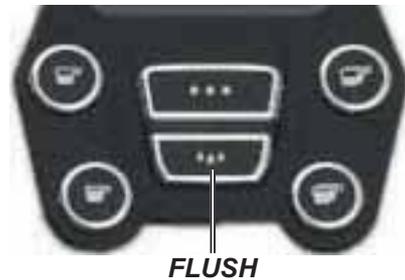
さらに、各分配グループのキーを別々の色で表示することができます。



FLUSH (洗浄)

技術スタッフにより有効化できる追加機能は、各コーヒーディスプレイペンサーグループのディスプレイの下部にあるFLUSHキー  です。

フラッシュアイコン  により、フィルターホルダーを取り付ける前に「グループすすぎ」を短時間実行できます。



フロー制御

フロー制御は、技術者が設定した対応する基準と比較したコーヒーのフローを監視します。

このシステムが起動している時、必要であれば、コーヒーの分量を適切なパラメーターに戻すため、グラインダー・ディスプレイペンサーがグラインディングを締め付けたり緩めたりするのに調整が必要であることをマシンはユーザーに通知します。

レベルシンボルの代わりにサービスディスプレイにアニメーションのアイコンが点灯し、ユーザーはそれを認識することができます。

アイコンが初めて表示される時は、ブザー音が鳴ります。表示されるアイコンは次の通りです。



これは、グラインダーを緩める必要があることを表します。
(コーヒーのフローは基準未満)。



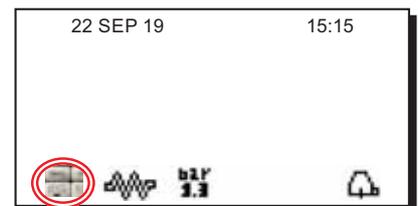
これは、グラインダーを締め付ける必要があることを表します。
(コーヒーのフローは基準を上回っている)

注:アイコン (1 または 2) の隣の数字は、調整しなければならないグラインダー/ディスプレイペンサーを指定します。

グラインダー/ディスプレイペンサーの調整後、フローが設定限度内に戻ると、アイコンは自動的に消えます。この状態になるには、数回分配することが必要になるかもしれません。



タッチスクリーン



自動プッシュボタンストリップ



BDS (バリスタドライブシステム)

BDSシステムは、コーヒーマシンおよびBluetoothで接続されている1個または2個の電動グラインダー/ディスペンサーから構成されています。

マシンのすべての分配ボタンは、レシタイプおよび対応するグラインダー/ディスペンサーに応じて設定されています。

BDSシステムの目的は、ユーザーがコーヒーをグラインドし、分配する作業をガイドして、それによって操作をシンプルで直感的なものにすることにあります。

システムのアクティベーションおよび設定は、技術スタッフがを行います。



動作論理

グラインダー/ディスペンサーはフィルターホルダーを認識し、作業を簡単に、かつユーザーフレンドリーにするコーヒーキーを有効にする信号をマシンに送ります。

バーマンは混合物に関連付けられたフィルターホルダーの位置を調整します。グラインダー/ディスペンサーはフィルターホルダーの種類を認識し、挽いたコーヒーを正確な量だけ分配します。同時に、飲み物の準備のためにどの選択を有効にするかの信号をマシンに送ります。

この時点で、バリスタはフィルタホルダーを取り付けて、有効化されたキーを押して分配することのみが必要です。



17. お湯の分配



熱湯によるやけどの危険!ウォーターノズルとスチームノズルを移動させるには、適切な絶縁装置を使用してください。

お湯の分配はエコマイザーによってコントロールされます。これによりボイラーからのお湯がメインパイプからの冷水と混合されて温度がコントロールされます。

したがって、このシステムにより水質が改善され、オペレーターの安全が保証されます。

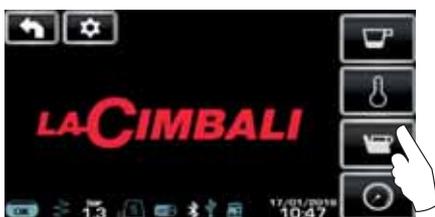
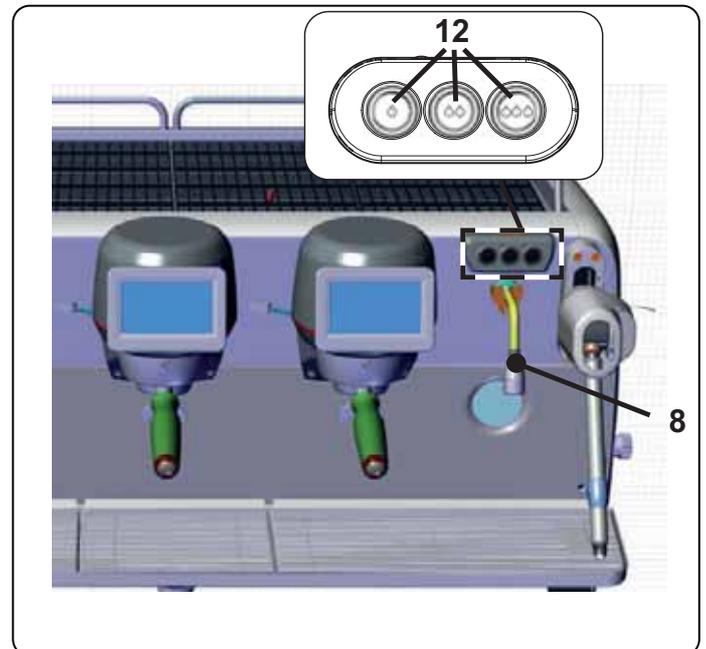
分配ノズル (8) の下に適切なコンテナを配置した後、水を次の方法で分配できます。

- 分量ボタン (12)  で。

プログラムされたお湯の分量がノズル から注がれ、自動的に停止します。

注:

- 分量ボタンを使用する時には、以前選択されたボタンを再度押すことでいつでも中断することができます。



お湯のボタンにはサービスメニュー  のショートカットからアクセスできます。



18. スチーム分配



熱湯によるやけどの危険!ウォーターノズルとスチームノズルを移動させるには、適切な絶縁装置を使用してください。

カプチーノ用のミルクを加熱 一般的な方法

ミルクは有機的な製品です。それはデリケートなため容易に変化します。加熱によりその構造が変化します。容器が開かれた瞬間から、使用される全期間を通して、ミルクは5℃(41°F)以下の温度で維持されなければなりません。当社のミルク保管機器はこの目的に適しています。

注: 営業日 (あるいは、いずれの場合でも、容器を開いてから24時間が過ぎたら) 終わりに、使用しなかったミルクは処分しなければなりません。

ターボスチームセレクト (13) での分配 (適用可能な場合)
急速な加熱とミルクの泡立ち用にターボスチーム (スチーム停止) の分配システム「指定の温度に達したらスチームの分配を停止」が装備されているマシン。
ターボスチームキーは以下の構成に基づいてさまざまな機能を持っています。

- 1 ホットミルク。
- 2 泡立てミルク (最小泡立てレベル)。
- 4 泡立てられたミルク (泡立てレベルが中)。
- 3 泡立てられたミルク (泡立てレベルが高)。

1



13 適切な容器にスチームノズル (9a) を挿入します。バルブがドリンクに完全に浸されていることを確かめます。

プッシュボタン ストリップ (13) を使用して希望のミルクを4つの利用可能な設定 (1 ÷ 4) から選択し、適切なキーを押してください。

9a

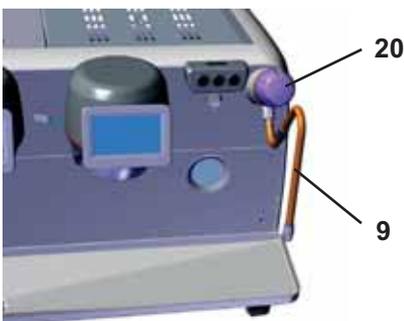
2



分配中に選択したホイップのタイプがタッチスクリーンに表示されます。

設定温度に達すると、スチームは自動的に止まります。分配はターボスチームキー (13) を押すことによりいつでも停止できます。

ノブコントロール (20) によるスチーム分配



スチーム分配ワンド (9) を適切な容器に挿入します。
スチームノブ (20) を反時計回りに回すと分配を開始し、時計回りに回すと停止します。

スチームノズルのクリーニング



使用後 (毎回):

- お湯と清潔なスポンジで外側を洗い、食品残留物を取り除きます。徹底的にすすいでください。
- スチームノズルの内部を以下のようにして洗浄します。カップトレイに向けてノズルを回し、少なくとも1回注意深くスチームを分配します。



熱湯によるやけどの危険!ウォーターノズルとスチームノズルを移動させるには、適切な絶縁装置 (A) を使用してください。

加熱する液体の入った容器にスチームノズル(9)を完全に浸し、スチームコントロールレバー (20) を適切な位置まで上に押し上げます。

液体が希望の温度またはエマルジョンレベルに達するまで待ち、次にスチームコマンドレバーを下げてスチームが出るのを止めます。



スチームノズルのクリーニング



使用後 (毎回):

- お湯と清潔なスポンジで外側を洗い、食品残留物を取り除きます。徹底的にすすいでください。
- スチームノズルの内部を以下のようにして洗浄します。カップトレイに向けてノズルを回し、少なくとも1回注意深くスチームを分配ます。

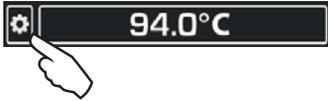


カスタマープログラミング(タッチスクリーン)

19. カスタマー用タッチスクリーンプログラミングフローチャート

アイコンを押し、プログラミングメニューにアクセスします。

前のメニューに戻るか、あるいは アイコンを押し、プログラミングメニューを終了します。




サービス時間メニュー

1



アイコンを押します。

自動スイッチオフ/スイッチオン

プログラムされた時刻にマシンをスイッチオフ、スイッチオンするように設定できます。

マシンオフの段階では、ディスプレイのライトは暗く点灯します。

注: マシンが自動的なオン/オフ機能で作動している時は、マシンのスイッチをオフにするのにメイン電源スイッチ (1) を使用してはいけません。これを使用すると、マシンは再度自動的にスイッチオンになることができません。

強制スイッチオン

オンにするには、任意の分配キーを押してください。

注: マシンを強制的にオンにしてもプログラムされたオン/オフの時刻は変更されません。

注: この時点では、次のスイッチオフの時刻が来るまでは、マシンはオンのままになります。

元々プログラムされていた通りにマシンを直ちにスイッチオフ時刻に戻すには、メイン電源スイッチ (1) を使用してスイッチをオフにし、再度オンにします。

2a



アイコンを押し、営業時間にアクセスします。



これらのパラメータは以下の設定が可能です。

USE (使用) - スイッチオン/スイッチオフの時刻: YES、NO、Eco (スイッチオフ段階の間、マシンの加熱エレメントは完全にはオフにならず、ボイラー圧力は0.2バールのままになる)。

ON - (スイッチオン時刻)。

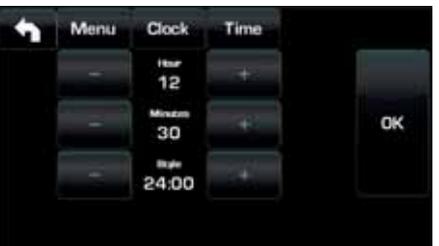
OFF - (スイッチオフ時刻)。

DAY OFF (休業日) - (休業日)。

2b



アイコンを押し、時刻を設定します。



これらのパラメータは以下の設定が可能です。

HOUR (時間)、MINUTES (分)、STYLE (表示形式) - (24:00またはAM/PM)。

2c



アイコンを押し、日付を設定します。



これらのパラメータは以下の設定が可能です。

DAY (日)、MONTH (月)、YEAR (年)。



言語選択



 アイコンを押します。

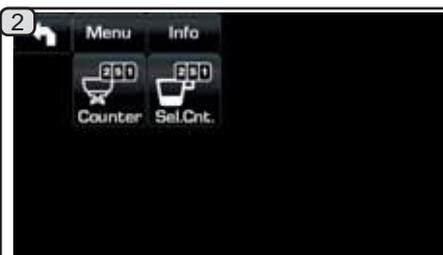


希望の言語のアイコンを押します。

カウンター



 アイコンを押します。



表示するメーターのタイプを選択します:

Counters (カウンター)  または
Selection Counters (選択カウンター) 

3a

Counters (カウンター)  メニューに表示されるパラメータは以下の通りです。
Coffee Group (コーヒーグループ)... - (コーヒーベースの飲料の数)。
Water (水) - (水が分配された回数)
Steam TS (スチームTS) - (位置AS 1のターボスチームセレクターを使用して分配されたスチームの回数)。
Steam + Air (スチーム+エア) - (位置TS 2~4のターボスチームセレクターを使用して分配されたスチームとエアの回数)。
Hot milk (ホットミルク) - (ホットミルクを分配する回数)
Cold milk (コールドミルク) - (コールドミルクを分配する回数)
Total Coffee (コーヒー合計) - (コーヒーベースの飲料の合計数)。



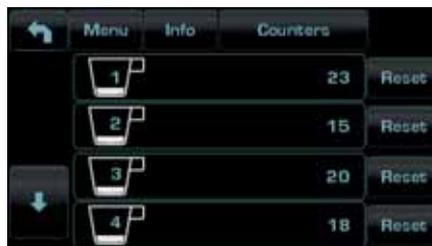
 と  の矢印を使用し、エントリをスクロールします。

3b

Selection Counters (選択カウンター) 
メニューでは、個々のキーに関するパラメータはカウントされるものです。

コーヒーグループのカウンター選択の例 :

水の分量のカウンター選択の例 :





COFFEE (コーヒー):

1 アイコンを押します。

2 コーヒーグループのいずれかを押します。(例: Group 3 (グループ3))。

3 プログラム可能なキーのアイコンはサービスディスプレイに表示されます。各キーに関連のある数がグループディスプレイに表示されます。

プログラム可能なキーのアイコンはサービスディスプレイに表示されます。各キーに関連のある数がグループディスプレイに表示されます。

キーは、自動学習機能で水の分量をプログラムできるようにします (関連する章参照)。

4 コーヒーキーのいずれか (例: キー1) を押すと、対応する水の分量がサービスディスプレイに表示され、該当するキーのアイコンはグループディスプレイでハイライトされたままになります。

コーヒーキーのいずれか (例: キー1) を押すと、対応する水の分量がサービスディスプレイに表示され、該当するキーのアイコンはグループディスプレイでハイライトされたままになります。

5 アイコンを押すと、分配がスタートし、次の画面がサービスディスプレイに現れます。



表示されるパラメータは次の通りです。

- Dv: 容積増分カウンター
- tG: 分配時間
- TB: インスタントコーヒーボイラー温度
- RB: %アクティベーションコーヒーボイラー加熱エレメント
- P: サービスボイラー圧力
- Liv: サービスボイラー水レベル、%信号レベル
- Rc: サービスボイラー加熱エレメント
- Evc: ボイラー水供給用電磁弁
- TV: ターボスチームワンドの蒸気の温度

水

1 アイコンを押します。

2 水のアイコンを押します。

これらのパラメータは以下の設定が可能です。
SET... - 分配時間を設定します。
% - 水温を設定します。

これらのパラメータは以下の設定が可能です。

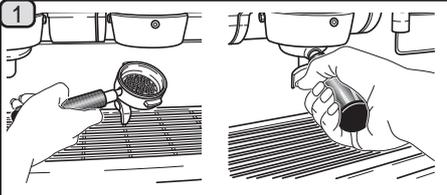
SET... - 分配時間を設定します。

% - 水温を設定します。



「自動学習」機能を使用した分量のプログラミング

1



グループ用の分量の挽いたコーヒーが入ったフィルターホルダーを取り付けます。

2



コーヒーグループのいずれかを押します。(例: Group 3 (グループ3))。

3



キー  を押します。赤の四角の線とブザーにより自動学習段階であることが分かります。

4



フィルターホルダーノズルの真下に単一のカップまたは複数のカップを置きます。
各キーに関連のある数がグループディスプレイに表示されます。

5



プログラムするボタンを押します (例: Key 1 (キー1)): 該当するキーのアイコンがディスプレイ上で選択されたままになります。カップに希望の量が注入されたら、キーを再度押します。コーヒーボタンの追加のプログラミングで続行します。

6



サービスディスプレイ上でコーヒーボタンを押すと、入力された分量および分量測定装置のインパルス値を見ることができます。
自己学習機能で入力された分量は、+/-キーを使用して手動で変更することができます。

その後、 アイコンを押し、値を確認します。



 アイコンを押します。



「省エネ」モードではディスプレイのライトは暗く点灯します。

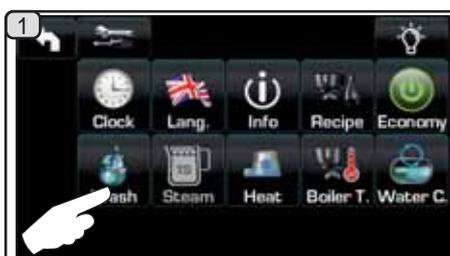
メッセージがディスプレイに表示されます。

この段階中:

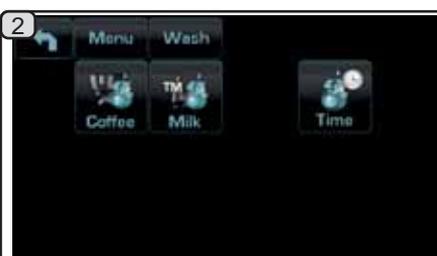
- ボイラー圧力が1.2バール以上の値に設定されている場合、圧力は0.8バールまで低下します。
- ボイラー圧力が1.2バール以下の値に設定されている場合、圧力は0.4バールまで低下します。

いずれかの分配キーを押してECONOMY (エコノミー)モードを終了し、マシンの作業段階に戻ります。

Wash (洗浄)



 アイコンを押します。



以下の洗浄設定から選択します。

- Coffee (コーヒー) 
- Milk (ミルク) 
- Time (時間) 

3a) Coffee Wash (コーヒー洗浄): アイコンを押します 



- 洗浄サイクルのタイプを選択し、 を実行します。
-  アイコンを押し、確認します。
- ディスプレイの指示に従ってください。

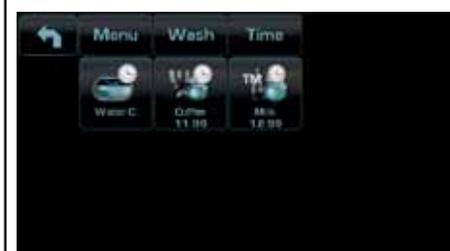
3b) Milk Wash (ミルク洗浄): アイコンを押します 



 アイコンを押し、ディスプレイに表示される指示に従ってください。

注:洗浄サイクルに関する詳しい情報は、「クリーニングとメンテナンス」を参照してください。

4) Time (時間): アイコンを押します 



このメニューでは、ボイラーの水の交換、コーヒー回路の洗浄、ミルク回路の洗浄リクエストが表示される時間を設定します。

以下から設定する時間を選択します。

- Change (交換) 
- Coffee (コーヒー) 
- Milk (ミルク) 



4a)

Change (変更): アイコンを押します



希望に応じて、時間を変更します。

アイコンを押し、確定します。

新しい時間が アイコンの下に表示されます。

注: 時間リクエストの付いた「CHANGE (変更)」機能は、「ブロック」機能をオン、オフにできる技術者が設定します。「ブロック」が有効化されると、水の交換が1時間以内に完了しない場合、マシンはドリンクの分配を停止します。予定時間リクエストでは、ユーザーはリクエストが表示される時間のみを変更することができます。

4b)

Coffee (コーヒー): アイコンを押します



希望するコーヒー洗浄のタイプを選択します。例 :

希望に従って時間を変更し、 アイコンで確定します。

新しい時間が アイコンの下に表示されます。

注: アイコンを押すと、予定された洗浄リクエストをキャンセルできます。この場合、 アイコンの下に時間は表示されません。

4c)

Milk (ミルク): アイコンを押します



注: 予定された洗浄リクエストをキャンセルすることはできません。

希望に従って時間を変更し、 アイコンで確定します。

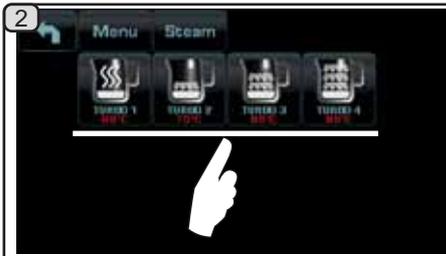
新しい時間が、 アイコンの下に表示されます。



Turbosteam (ターボスチーム)



1 アイコンを押します。



2 ターボスチームアイコンのいずれかを押します。



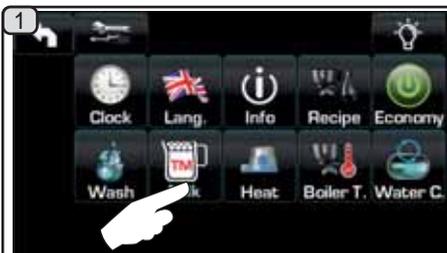
3 変更するパラメータを押します。



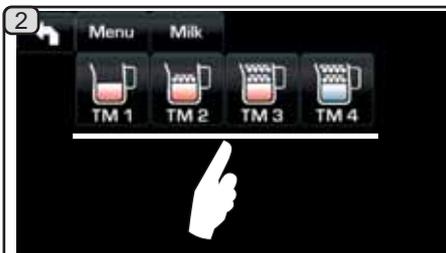
「+」と「-」アイコンを使用し、希望の値を設定します。

入力したデータを「OK」アイコンを使用して確定するか、「戻る」アイコンを使用して以前のデータのままにします。

Milk (ミルク) (ターボミルク搭載バージョン)



1 アイコンを押します。



2 ターボミルクアイコンのいずれかを押します。



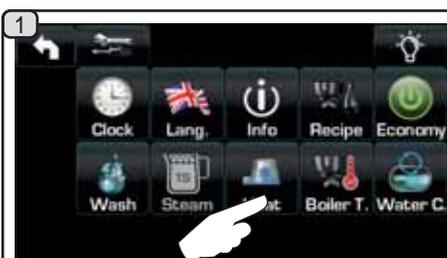
3 変更するパラメータを押します。



「+」と「-」アイコンを使用し、希望の値を設定します。

入力したデータを「OK」アイコンを使用して確定するか、「戻る」アイコンを使用して以前のデータのままにします。

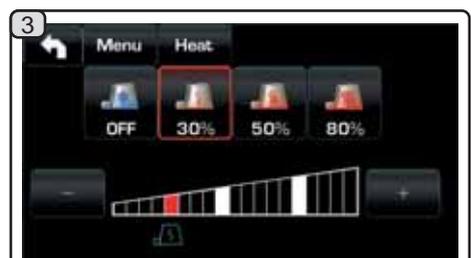
カップウォーマー



1 アイコンを押します。



2 加熱レベルを選択します。



「+」と「-」アイコンを使用し、追加の変更が可能です。



コーヒーポイラー温度

1

アイコンを押します。

2

| Menu | T. Boiler | | |
|------|-----------|---|----|
| 1 | 94.0 | + | OK |
| 2 | 91.0 | + | |
| 3 | 92.0 | + | |
| 4 | 92.0 | + | |

「+」と「-」アイコンを使用し、希望の値を設定します。
 注: 温度は、技術者が行った前回の設定の ± 2 の範囲内で変動します。
 入力したデータを **OK** アイコンを使用して確定するか、**↶** アイコンを使用して以前のデータのままとします。

ポイラー内の水の交換

1

アイコンを押します。

2

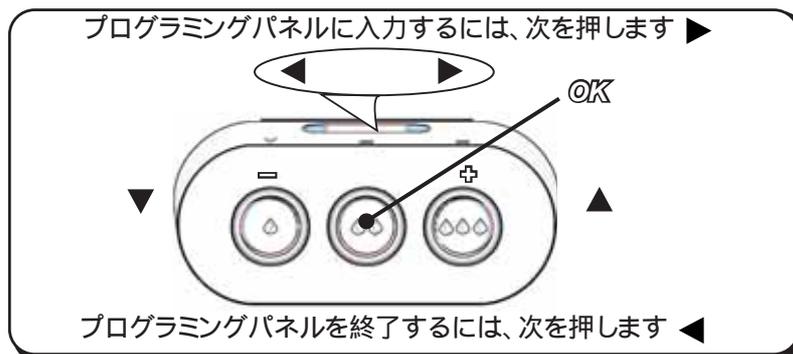
以下のメッセージが表示されます。「水の交換」。ポイラーからの水がお湯のノズル(総容量のおよそ60~70%)から流出します。

このページは意図的に空白にされています



カスタマープログラミング(自動プッシュボタンストリップ)

20. カスタマー用自動プッシュボタン ストリップ プログラミング フローチャート

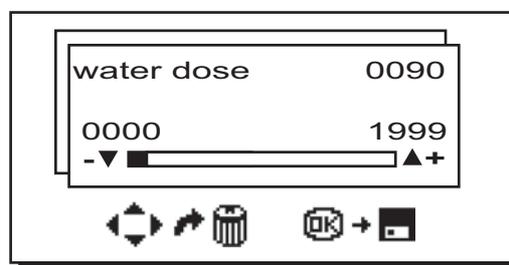


プログラミングへのアクセス方法:

注: 「Customer Prog. (カスタマープログラミング)」のオプションが「YES (あり)」に設定されている場合のみ:

注: 注意: データの変更中、カーソルは「→」に変わるか、あるいはスライダーバーが現れて設定できる最小値および最大値が表示されます。

プログラミングを開始するには、▶キーを押します。ディスプレイに下記のメッセージが表示されます。



▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します。

常に▲と▼キーを使用して値を変更します。この時点で2つのオプションがあります。

- 1) OKを押すことにより変更を確認します。
- 2) メニューを終了し、◀を押すことでデータを変更せずに去ります。



プログラミングパネルの終了

- OK キーを押して値に行われた変更を確認します。
- ◀ キーを押して値を変更しないままにしておきます

時計の設定:

▲と▼キーを使用して時計を設定します。

時間は押すごとに1分ずつ増加します(あるいは減少)。

ボタン(▲ or ▼)を10秒以上保持すると分の値が設定されて分が増加(または減少)します。

時間を設定している時に第2のカウンターは「00」に設定されたままです。





カップウォーマー



注意:どのようなタイプの布であれ、布でカップウォーマートレーは覆わないでください。

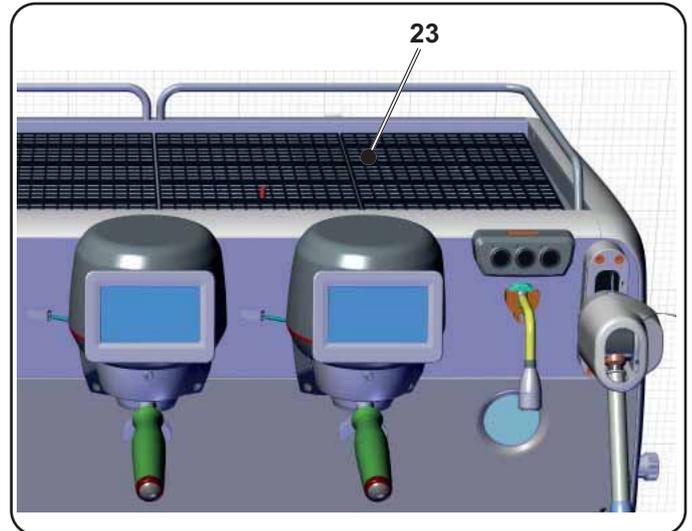
マシンには、カップを保管するためのカップウォーマートレー (23) があります。

コーヒーマシンで使用できるカップとグラスのみをカップトレイ上に置きます。その他の物をトレイに置かないでください。カップは、トレイに置く前に完全に乾かしておきます。

注:カップウォーマートレー (23) の加熱は、自動スイッチオフの段階でオフになります。

マシンをスイッチオフにした時点でオンであった状態は、次にマシンが自動でスイッチオンされた時に回復します。

省エネモードが有効化されると、カップウォーマーは自動的にレベル 1 に設定されます。



日本語

1

*** CUSTOMER PROG.
CUP-WARMER**

KEY MENU
WATER
SELF LEARNING
WASHES

OK [wave icon] b1P 1.3

加熱レベルを選択します。

2

*** CUSTOMER PROG.
CUP-WARMER**

KEY MENU
WATER
SELF LEARNING
WASHES

OK [wave icon] b1P 1.3 [bell icon]

追加の変更は ▶ キーを使用して行うことができます。

3

- [full power icon] = 最大電力記号
- [medium power icon] = 中位電力記号
- [low power icon] = 最小電力記号
- 記号なし = OFF

キーメニュー・コーヒー選択

プログラミングを開始するには、▶ キーを押します。ディスプレイに下記のメッセージが表示されます。

*** CUSTOMER PROG.
CUP-WARMER**

KEY MENU

WATER
SELF LEARNING
WASHES

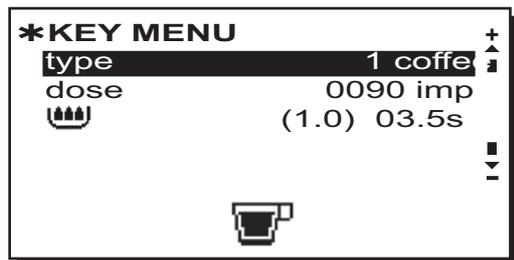
OK [wave icon] b1P 1.3 [power icon]

▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル (黒線) を置き▶キーを押します。



COFFEE DOSES (コーヒーの分量)

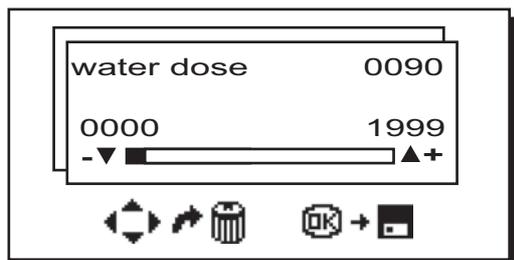
1 選択キーボードでコーヒー分配キーのいずれかを押します (関連のLEDは点灯したまま)。ディスプレイは下記を表示します。



各グループはプッシュボタンストリップによってコントロールされます。これによって記録される各キーに希望の量を分配できるようになります。
変更できるコーヒーの選択設定は次のとおりです。

- dose (分量)(体積分配デバイスパルス)。
 - ☕ (予備抽出と湿潤のための時間)。
- (1.0) は湿潤段階の持続時間を秒単位で表示します。
03.5s は予備抽出段階の持続時間を秒単位で示します。

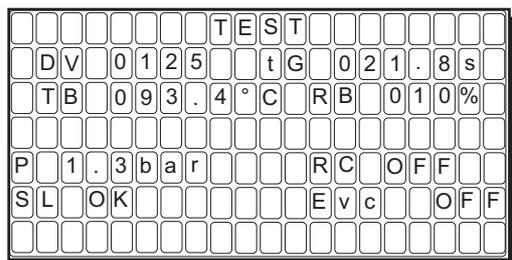
分配量の変更:



2

テストパネル

「OK」キーを押すと分配が始まります。また、関連するパラメータがディスプレイに表示されます。



表示されるパラメータは次の通りです。

- Dv: 容積増分カウンター
- tG: 分配時間
- TB: インスタントコーヒーボイラー温度
- RB: %アクティベーションコーヒーボイラー加熱エレメント
- P: ボイラー圧力
- Rc: サービスボイラー加熱エレメント
- SL: ボイラーの水レベル
- Evc: ボイラー水供給用電磁弁



「コーヒー」の代わりにして、他のタイプの飲料を選択することができます。

A - 「抽出」で特定のパラメータの様々な調節ができます。

| *KEY MENU | |
|---------------|---------|
| Type | Brewing |
| dose | 250g |
| Blooming 030g | 30" |
| Pouring | N 4 |
| Dispense time | 3'00" |

- 分配量 (飲み物を作る水の合計グラム数)。
- ブルーミング (ブルーミング段階のグラム単位の水、設定時間で分配される。
この例では、30グラムの水が30秒で分配されます)。
- 注入 (水が分配される回数。飲み物を準備するためのブルーミング段階を除きます。
例:4回)。
- 分配時間 (飲み物を準備するのに必要な時間。
例:3分00秒)。

例は工場設定を示します。

250グラムの飲み物 (250g) 3分で準備 (3'00")。

合計250グラムのうち、30g (030 g) がブルーミング段階で30秒 (30") で分配されます。

残りの220グラムは、4つの段階 (N 4) で、残りの2分30秒:

合計3分 (3'00") - ブルーミングの30秒を差し引く ((30") で加えられます。

B - 「紅茶注入」で希望の分配量を選択します。

| *KEY MENU | |
|-----------|------|
| Tea type | |
| dose | 250g |

キーにも以下の機能を割り当てることができます。

- 停止。現在の分配を停止します。
- 洗浄。フィルターホルダーを挿入する前に「ユニットすすぎ」を短時間 (1 ~ 5秒) 実行できます。
- 無効化。機能はありません。

- 分配量 (飲み物を作る水の合計グラム数)。



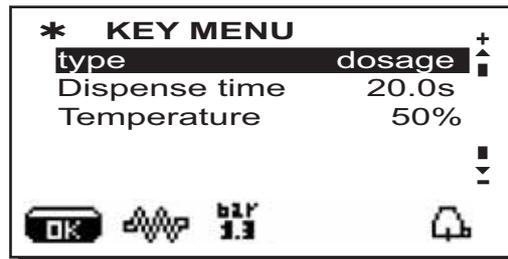
1 ▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル (黒線) を置き▶キーを押します。



2 プログラム可能なキーSET (設定)...がディスプレイ上に現れます



3 ▶キーを再度押すと、下記の設定メニューがディスプレイに表示されます。



変更できるお湯の選択設定は次のとおりです。

- Water-dispensing time (水の分配時間) (水の分配時間)。
 - Temperature (温度) (水温)。
- 水キーのテスト段階は、コーヒーキーのそれと似ています。

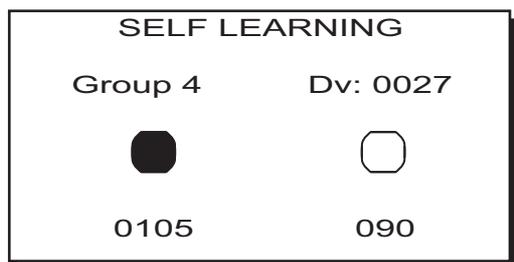
「OK」キーを押して入力した情報を確認します。

「自動学習」機能を使用した分量のプログラミング

1 またコーヒーの水の分量は「自動学習」機能を使用してプログラムすることができます。



2 ▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル (黒線) を置き▶キーを押します。
次のメッセージがディスプレイに表示されます。



3 Coffee doses (コーヒーの分量)

- 1 - ユニット用の挽いたコーヒーの分量が入ったフィルターホルダーを取り付けます。
- 2 - カップをフィルターホルダーのノズルの下に置いて、プログラムするキーを押します。カップが希望のレベルに達するまでキーを押し続けます。



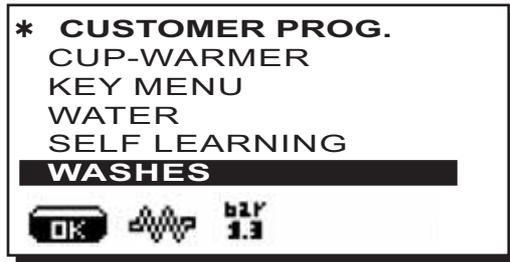
この段階の間、体積分配デバイスのパルス値 (ディスプレイの右上) ⁽¹⁾が増加します。ボタンを手離すと、到達した値が記録されプログラムされたキーの下に現れます。

- 3 - ステップ 1から繰り返して、すべてのコーヒーキーでプログラミングを継続します。

完了したら、行った変更を確認して、OKキーを押すことによりメニューを終了します。



▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き
▶キーを押します。

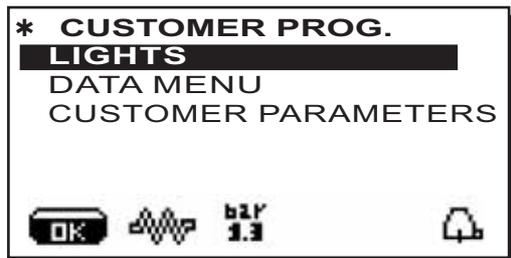
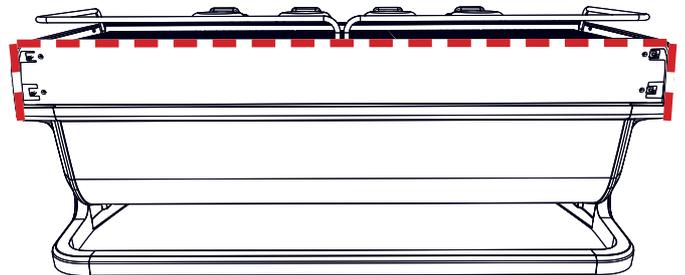


クリーニング方法は、「クリーニングとメンテナンス」を参照してください。

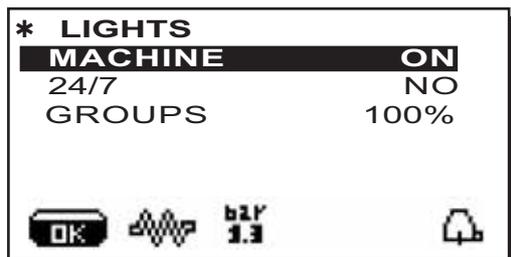
照明

マシンの後部に赤色照明があり、マシンが始動した時に有効化できます。

▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き
▶キーを押します。



次のメッセージがディスプレイに表示されます。



このメニューでは、マシンの照明を調整します。特に、以下の照明を調整します。

- Machine (マシン)(後部照明)。
- 24 / 7 (永続的照明)。
- Group (グループ)(グループ照明)。

▲と▼キーを使用し、値を設定します。

変更は、入力されたデータが■「OK」キーで確認された後で適用されます。

後部照明は調整できません。唯一のオプションはオン(マシンが始動した時に照明がオンになります)またはオフのみです。

注: 連続的な照明(1日24時間、1週7日)は、▲と▼キーを使用することにより有効化することができます。



1

▶キーを押し、カーソル(暗い線)を▲と▼キーを使用して希望のラインに配置します。以下のメッセージが表示されます。



2

カウンターは▶キーを押すことにより表示されます。次のメッセージがディスプレイに表示されます。

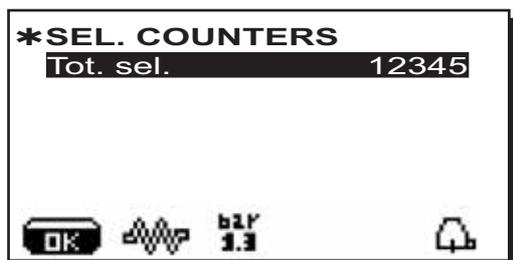


そして続けて:



3

いずれかの分配キーを押すと関連のLEDが点灯したままになり、ディスプレイにコーヒーがそのキーで分配された回数が表示されます。



選択カウンタは▶キーを押し ▲または ▼キーを押すことでリセットできます。

■「OK」キーを押し、リセットを確定します。◀キーを押し、前の画面に戻ります。

4

リストされたパラメータは次のとおりです:

- coffee (コーヒー) (コーヒーベースの飲料の数)。
- brewing (抽出) (「抽出」モードでの分配数)。
- tea infusion (紅茶注入) (紅茶が分配された回数)。
- water (水) (水が分配された回数)。
- steam (スチーム) (スチームが分配された回数)。
- v. air (v. 空気) (ターボスチームの分配数)。
- tot.coffee(コーヒー合計) (コーヒーベースの飲料の合計数)。
- total operating time (合計運転時間) (マシンがオンになっていた期間)。

カウンターは、カーソルを特定のアイテムに置くことでリセットできます。この場合、▶キーを押し、次に ▲または▼キーを押します。

リセットは■「OK」キーを押すことにより確認されます。

ライン「No. coffee (コーヒーなし)」がマシンのグループのそれぞれに対して一度現われます。

注: リセットできないパラメータは次のとおりです。

- tot coffee (コーヒー合計)

◀キーを再度押すとメインパネルに戻ります。



カスタマーパラメータ

▶キーを押し、カーソル(暗い線)を▲と▼キーを使用して希望のラインに配置します。以下のメッセージが表示されます。

「顧客パラメータ」パネルにアクセスするには、▶キーを押してください。

次のメッセージがディスプレイに表示されます。



言語選択

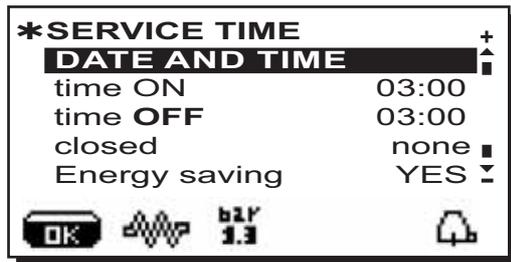
異なる言語でメッセージを表示するには、「顧客パラメータ」セクションに入り、▲または▼キーを押して、次に▶キーを押してカーソルを希望の言語に移動します。マシンは選択された新しい言語のメッセージで再起動します。





営業時間メニュー

線「サービス時間」で▶キーを押すと、ディスプレイが下記を表示します。



営業時間メニューで設定することができるパラメータは次のとおりです。

- ON time (ON時刻) (スイッチオン時刻)。
- OFF time (OFF時刻) (スイッチオフ時刻)。
- closed (閉店) (閉店日)。

一般事項

閉店日がない場合は、「closing (閉店)」を「none (なし)」に設定してください。

自動的なオン/オフ機能ではなく手動でマシンのオン/オフをしたい場合は、「time (ON時刻)」と「time (OFF時刻)」を同じ時刻に設定してください (例:

time ON 22:00
time OFF 22:00

- Energy Saving. (省エネ)(省エネ機能を有効化/無効化: YES/NO)。
- Night ON (夜間ON) (夜間ドリンク料金を開始する時刻。支払いシステムが接続されている場合のみ)。
- Night OFF (夜間OFF) (夜間ドリンク料金を終了する時刻。支払いシステムが接続されている場合のみ)。

- 洗浄 (プログラム可能な洗浄時間)。
これはプログラム可能な洗浄時間で、設定された時間になるとディスプレイは「PERFORM COFFEE WASH (コーヒー洗浄を実行)」を表示します。

要求されると、パラグラフ「クリーニング作業」に記載された方法で洗浄を実行します (同時または連続的に)。洗浄リクエストが現れる時間を設定するには以下を行います。

- カーソルをWASH (洗浄)の線に位置決めします。
- ▶キーを押します。
- ▲と▼キーを使用して値を変更します。
- ■「OK」キーを押し、情報を確定します。

この洗浄を有効化しない場合は、その時点でOFFを設定します。OFFが表示されます。▼キーを押します。表示される時刻は「00:00」です。

注:技術者は「ブロック」機能を有効または無効にする権限を持っています。

「ブロック」が有効化されると、洗浄サイクルが1時間以内に実行しない場合、マシンはドリンクの分配を停止します。

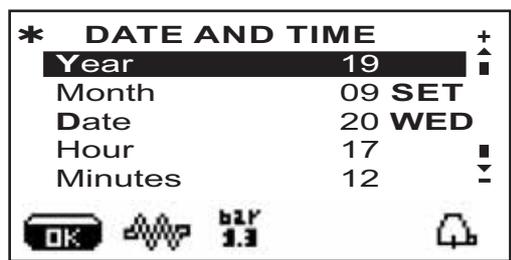
- Change (変更) (時間のプログラムが可能な水の変更)。
時間リクエストを行う「Water Change (水の交換)」機能は、「ブロック」機能をオン、オフにできる技術者が設定します。「ブロック」が有効化されると、水の交換が1時間以内に完了しない場合、マシンはドリンクの分配を停止します。
- 予定時間リクエストでは、ユーザーはリクエストが表示される時間のみを変更することができます。

時間を変更するには、次のように行います。

- カーソルをWater Change (水の交換)のライン上に位置決めします。
- ▶キーを押します。
- ▲と▼キーを使用して値を変更します。
- ■「OK」キーを押し、情報を確定します。

日付と時刻

日時を変更するには、対応する線の▶キーを押します。ディスプレイがメッセージを表示します。



カーソル (暗い線) を修正するアイテムまで移動し、▲と▼キーを使用して、▶キーを押します。カーソルは→に変化し、値を再度▲と▼キーを使用して選択できるようになります。操作が完了したら、■「OK」キーを押して確認します。

注: カーソルは再び暗い線になります。前の指示を繰り返して他のパラメータを修正してください。



21. クリーニングとメンテナンス



食品安全性システム (HACCP) の正しい適用については、この章の指示に従ってください。

洗浄は、オリジナルの「サービスライン」製品を使用して実行しなければなりません (詳細は最終ページを参照)。その他の製品の場合、食品と接触する資材の適性を損なう可能性があります。

クリーニング間隔の全般的概要

| | 1回の使用ごとに | 毎日 | 毎週 | 必要な場合、またはSW経由で要求された場合 | 使用するツール |
|------------------------------|----------|----|----|-----------------------|--|
| コーヒー回路 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • ブラシ (1) • ラバーディスク (2) • 洗剤パウダー (3) |
| コーヒーグループ | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • ブラシ (1) |
| ボイラー水の交換 | | | | | |
| フィルタホルダー | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • 容器 (4) • 洗剤パウダー (3) • スポンジ (5) |
| スチームパイプ | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • 容器 (4) • スポンジ (5) |
| 自動スチームパイプ | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • 容器 (4) • スポンジ (5) |
| 水パイプ | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • スポンジ (5) |
| グリルとトレイ | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • スポンジ (5) |
| 排水トレイ | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • 容器 (4) • スポンジ (5) |
| 本体構造 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • 柔らかい布 (6) |
| コーヒーディスペンサーグループシャワー (SPURGE) | | | | | |
| ミルク回路 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • 液体洗剤 • 洗浄トレイ |
| タッチスクリーン | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • マイクロファイバー布 |
| カップトレイ表面 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> • スポンジ (5) |



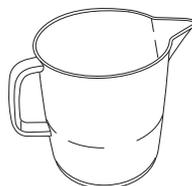
(1)



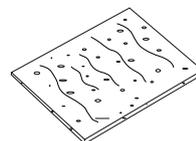
(2)



(3)



(4)



(5)



(6)

クリーニングの詳細は、以下のページの関連のセクションを参照してください。



営業終了時にすべてのグループ、あるいはマシンが指示した時に従うべき手順。

コーヒー回路のクリーニング

洗浄サイクルには、コーヒーが分配された時に蓄積されるグリースや水あかをすべて除去する、という目的があります。回路の洗浄を行わないと、これらの残留物が凝固する可能性があります。これは、コーヒー回路の性能を損なうことになります。
備考: マシンがオンであり、圧力がかかっている時は、以下の操作を実行しなければなりません。

グループバージョン

コーヒー回路

注意: 洗浄サイクル中、お湯とスチームがデリバリースパウトから排出されます。洗浄サイクルが終了するまで、この近くに手あるいは他の身体部分を置かないでください。

マシンが指示した場合、「EXECUTE COFFEE WASHING (コーヒー洗浄実行)」がディスプレイに現れます。このリクエストは1時間、あるいは洗浄サイクルが実行されるまで表示されたままになります。コーヒー回路は以下の方法でも洗浄できます。

- **sequential (連続)**: それぞれのグループは別々にかつ連続して洗浄されます。したがって、洗浄していないグループを続けて使用することができます。
- **simultaneous (同時)**: すべてのグループが同時に洗浄されます。

注: 同時洗浄モードは7分間続きます。単一洗浄モードは、コーヒーディスペンサーの各グループごとに7分間続きます。

3番めのタイプの洗浄サイクルも可能です。

- **single (単一)**: 複数のグループのうちの特定の1つのグループだけ洗浄サイクルを実行することができます。残りのグループは洗浄されません。洗浄サイクルに含まれないグループは、その洗浄時間中でも使用することができます。

備

考: マシンが警告メッセージを発した場合は単一洗浄サイクルを実行できません。

注: ブザー音により、注意が必要とされる洗浄サイクルをユーザーに知らせます。

注: 一旦洗浄サイクルが開始すると、マシンのスイッチをオフにしても止めることはできません。停電があった場合、電力が復旧すると「EXECUTE WASHING (洗浄実行)」のメッセージが表示されます。上記の記載に従い、クリーニングの作業を終えてください。

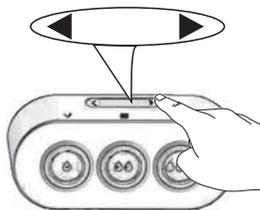
注: 洗浄サイクルメッセージが表示されず、かつマシンが頻繁に使用される場合、洗浄サイクルはいつでも実行できます。

タッチスクリーン

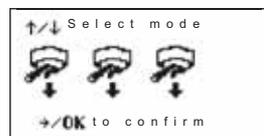


自動プッシュボタンストリップ

▶ キーを押します。



▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル (黒線) を置き ▶ キーを押します。



◀ キーを押すことにより、洗浄の選択パネルを終了できます。

マシンの指示なしで行なわれた洗浄サイクルは、マシンのスイッチをオフにした後にオンにすることで中断することができます。

実行しなかったプログラム済みの洗浄サイクルは、マシンに保存されます。

注: 技術者は「ブロック」機能を有効または無効にする権限を持っています。

「ブロック」が有効化されると、洗浄サイクルが1時間以内に実行しない場合、マシンはドリンクの分配を停止します。

洗浄サイクルを実行するには、次ページの手順に従ってください。



連続洗浄

営業終了時にすべてのグループ、あるいはマシンが指示した時に従うべき手順。

タッチスクリーン



分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。

1

連続洗浄画面がディスプレイに表示されます。

2

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

3

ブラシを使用して、カバーガスケットを清掃します。

4

フィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

5

5G (小さじ1杯分) の洗剤パウダーを注いでください。

6

フィルターホルダーをグループ1に取り付けます。

7

OK アイコンを押します。

8

OK アイコンを押します。

9

グループの洗浄サイクルが開始し、「GR1 WASH (グループ1洗浄)」のメッセージがディスプレイに表示されます。

10

グループ1の洗浄サイクルが終わると、「REMOVE FILTER HOLDER GROUP 1 (フィルターホルダーグループ1を取り外してください)」が表示されます。

11

フィルターホルダーを取り外して、OK アイコンを押します。

12

メッセージ「GR1 RINSE (グループ1すすぎ)」が表示されます。

13

グループ1のすすぎサイクルが終わると、「EXECUTE GROUP 2 WASH (グループ2洗浄実行)」のメッセージが表示されます。

14

すべてのマシングループに対して上記の操作を繰り返します。



自動プッシュボタンストリップ

1

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

2

ブラシを使用して、カバーバスケットを清掃します。

3

▶キーを押します。

4

* CUSTOMER PROG.
CUP-WARMER
KEY MENU
WATER
SELF LEARNING
WASHES

▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します。

5

↑/↓ Select mode
→/OK to confirm

同時洗浄画面がディスプレイに表示されます(プリセットサイクル)。

6

↑/↓ Select mode
→/OK to confirm

▲と▼キーを使用して Sequential washing (連続洗浄)に進むと、ディスプレイがスクロールできるマシングループを表示します。

7

22 SEP 19 15:15
INSERT FILTER HOLDER
GROUP 1
press ▶
to confirm

「OK」キーを使用して、洗濯サイクルを確認してください。ディスプレイが下記を表示します。

8

フィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

9

5G(小さじ1杯分)の洗剤パウダーを注いでください。

10

フィルターホルダーをグループ1に取り付けます。

11

▶キーを押します。

12

22 SEP 19 15:15
GR1 WASH

グループ1の洗浄サイクルが開始し、メッセージ「GR1 WASH (グループ1洗浄)」がディスプレイに表示され、その後、完了の度合いのパーセンテージが表示されます。

13

22 SEP 19 15:15
REMOVE FILTER HOLDER
GROUP 1
press ▶
to confirm

グループ1の洗浄サイクルが終わると、「REMOVE FILTER HOLDER GROUP 1 (フィルターホルダーグループ1を取り外してください)」が表示されます。

14

フィルターホルダーを取り外します。

15

▶キーを押します。

16

22 SEP 19 15:15
GR1 RINSE
066%

メッセージ「GR1 RINSE (グループ1すすぎ)」が表示されます。

17

22 SEP 19 15:15
EXECUTE GROUP 2 WASH
press ▶
to confirm

18

すべてのマシングループに対して上記の操作を繰り返します。

18

すべてのマシングループに対して上記の操作を繰り返します。

!

分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。



SIMULTANEOUS WASHING (同時洗浄)

営業終了時にすべてのグループ、あるいはマシンが指示した時に従うべき手順。

タッチスクリーン



分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。

1

同時洗浄画面がディスプレイに表示されます。

2

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

3

ブラシを使用して、カバーガスケットを清掃します。

4

フィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

5

5G (小さじ1杯分) の洗剤パウダーを注いでください。

6

グループにすべてのフィルターホルダーを取り付けます。

7

OK アイコンを押します。

8

OK アイコンを押します。

9

洗浄サイクルが開始し、「GR... WASH (グループ...洗浄)」のメッセージがディスプレイに交互に表示されます。

10

洗浄サイクルが終わると、メッセージ「REMOVE FILTER HOLDER (フィルターホルダーを取り外してください)」が表示されます。

11

フィルターホルダーを取り外して、OK アイコンを押します。

12

メッセージ「GR ...RINSE (グループ...すすぎ)」が表示されます。交互に。

13

すすぎの段階後、洗浄サイクルが完了します。



自動プッシュボタンストリップ

1

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

2

ブラシを使用して、カバーガasketを清掃します。

3

▶キーを押します。

4

* CUSTOMER PROG.
CUP-WARMER
KEY MENU
WATER
SELF LEARNING
WASHES

▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します。

5

↑/↓ Select mode
→OK to confirm

同時洗浄画面がディスプレイに表示されます(プリセットサイクル)。

6

22 SEP 19 15:15
INSERT FILTER HOLDER
press ▶ to confirm

「OK」キーを使用して、洗濯サイクルを確認してください。ディスプレイが下記を表示します。

7

フィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

8

5G(小さじ1杯分)の洗剤パウダーを注いでください。

9

グループにすべてのフィルターホルダーを取り付けます。

10

▶キーを押します。

11

22 SEP 19 15:15
GR... WASH
012 %

洗浄サイクルが開始し「GR... WASH(グループ...洗浄)」のメッセージが表示され、完了の度合いのパーセンテージが交互に表示されます。

12

22 SEP 19 15:15
REMOVE FILTER HOLDER
press ▶ to confirm

洗浄サイクルが終わると、メッセージ「REMOVE FILTER HOLDER(フィルターホルダーを取り外してください)」が表示されます。

13

フィルターホルダーを取り外します。

14

▶キーを押します。

15

22 SEP 19 15:15
GR... RINSE
066 %

メッセージ「GR...RINSE(グループ...すすぎ)」が表示されます。交互に。

16

22 SEP 19 15:15

すすぎの段階後、洗浄サイクルが完了します。



分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。



SINGLE WASHING (単一洗浄): マシンが警告メッセージを発した場合は実行できません。
営業終了時にすべてのグループ、あるいはマシンが指示した時に従うべき手順。

タッチスクリーン



分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。

1

アイコンを押します。

2

アイコンを押します。

3

アイコン を押します。

4

アイコン を押します。

5

洗浄するグループを選択します。

6

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

7

ブラシを使用して、カバーガasketを清掃します。

8

フィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

9

5G (小さじ1杯分) の洗剤パウダーを注いでください。

10

フィルターホルダーをグループに取り付けます。

11

OK アイコンを押します。

12

グループ洗浄サイクルが開始し、「GR...WASH (グループ洗浄)」メッセージがディスプレイに表示されます。

13

グループの洗浄サイクルが終わると、「REMOVE FILTER HOLDER GROUP (フィルターホルダーグループを取り外してください)」が表示されます。

14

フィルターホルダーを取り外して、アイコンを押します。

15

メッセージ「GR...RINSE (グループ...すすぎ)」が表示されます。

16

すすぎの段階後、洗浄サイクルが完了します。
洗浄を行うグループでこれらの手順を繰り返します。



自動プッシュボタンストリップ



分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。

1

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

2

ブラシを使用して、カバーガasketを清掃します。

3

▶キーを押します。

4

▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します。

5

同時洗浄画面がディスプレイに表示されます(プリセットサイクル)。

6

▲と▼キーを使用してSingle wash(単一洗浄)に進みます。洗浄されるグループの周りにボックスが現れます。

7

▲と▼キーを使用して、洗浄されるグループを選択します。

8

■「OK」キーを使用して、選択(例えば、グループ3)を確認してください。ディスプレイが下記を表示します。

9

フィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

10

5G(小さじ1杯分)の洗剤パウダーを注いでください。

11

フィルターホルダーをグループ3に取り付けます。

12

▶キーを押します。

13

グループ3の洗浄サイクルが開始し、メッセージ「GR3 WASH(グループ1洗浄)」がディスプレイに表示され、その後、完了の度合いのパーセンテージが表示されます。

14

グループ3の洗浄サイクルが終わると、「REMOVE FILTER HOLDER GROUP 3(フィルターホルダーグループ1を取り外してください)」が表示されます。

15

フィルターホルダーを取り外します。

16

▶キーを押します。

17

メッセージ「GR3 RINSE(グループ3すすぎ)」が表示されます。

18

すすぎの段階後、洗浄サイクルが完了します。

19

洗浄を行うグループでこれらの手順を繰り返します。



ボイラー中の水の交換 - 少なくとも1日1回実行する手順

タッチスクリーン

1

アイコンを押します。

2

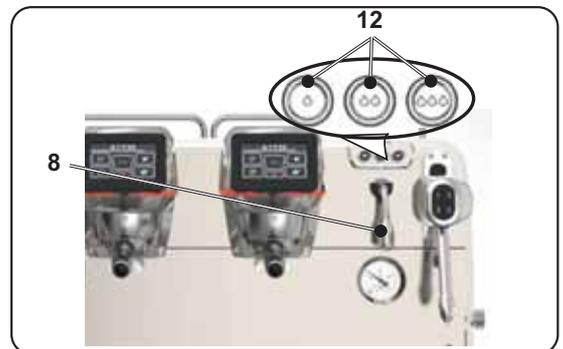
アイコン  を押します。

3

以下のメッセージが表示されます。「水の交換」。ボイラーからの水がお湯のノズル (総容量のおよそ60~70%) から流出します。分配は自動的に止まります。この手順後、マシンは通常の機能に戻り、ボイラーには新鮮な水が補充されます。

自動プッシュボタンストリップ

お湯の分配キー (12) を約5秒間押し下げてください。ディスプレイがメッセージ「WATER CHANGE...% (水の交換...%)」を表示し、ボイラーからの水がお湯のノズルから流出します (8) (総容量のおよそ60~70%)。分配は自動的に止まります。この手順後、マシンは通常の機能に戻り、ボイラーには新鮮な水が補充されます。



フィルターホルダー - この操作は各営業日の終わりごとにすべてのフィルターホルダーで実行しなければなりません

1

アルミニウムまたは鉄以外の適切な容器に、お湯 (50 ÷ 80 °C) 1リットルと10g (小さじ2杯分) の洗剤パウダーを注いでください。

2

フィルターホルダーからフィルターを取り外します。

3

少なくとも15分間、この溶液にフィルターとフィルターホルダーを浸します。
注! 金属製部品のみ浸してください。

4

非研磨性のスポンジで残留物を取り除き、冷水でよくすすぎます。

5

フィルターホルダーにフィルターを戻します。フィルターのアンカースプリング (A) がスロットにはまっていることを確認してください。



手動/自動スチームノズル - 営業終了時に従うべき手順。

1

> 90 °C

適切な容器を使用して、ボイラーから適量のお湯 (> 90 °C) を取り出してください。ミルクと接触するノズルの部分をカバーするのに十分な量にしてください。

2

手動 | 自動

30分。

ノズルを少なくとも30分間浸します。

3 水を捨てて、容器を徹底的にすすいでください。

4

> 65 °C

ノズルを使用して少なくとも65 °C まで適切な量の冷水を温めます。ステップ1でお湯と接触したノズル全体が、水でカバーされるようにしてください。

5 水を捨てて、容器を徹底的にすすいでください。

6

カップトレイに向けてチューブを回し、少なくとも10秒間丁寧にスチームを分配します。

7

清潔で、わずかに湿らせた非研磨性のスポンジで、ノズルを乾かしてください。スポンジは繊維の残留物を残さないものにしてください。

日本語



スチームおよびお湯の分配パイプ - この操作は各営業日の終わりごとに実行しなければなりません。

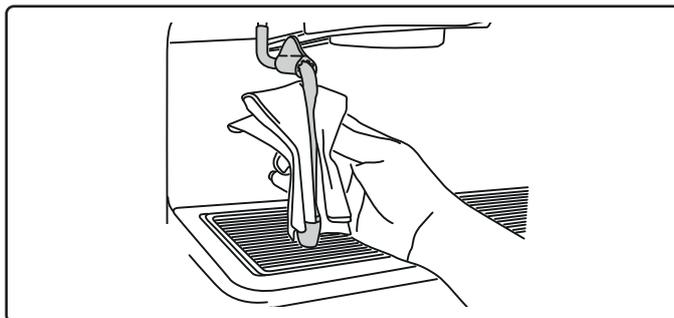
非研磨性のスポンジを使用してお湯で洗い、有機残留物を除去します。丁寧にすすぎます。



研磨材を使用しないでください。

スチームノズルの内部をクリーニングするには、以下の手順に従ってください。

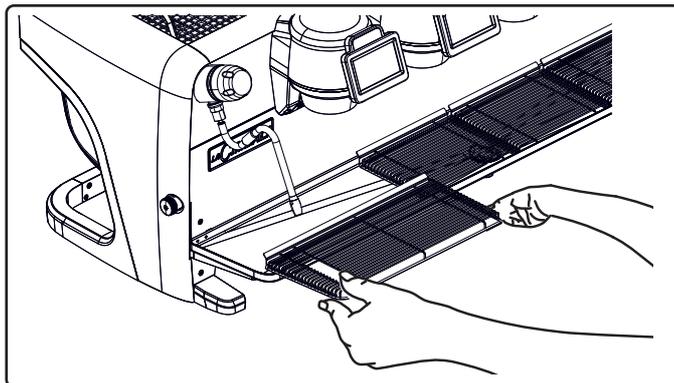
カップトレイに向けてノズルを回し、少なくとも1回注意深くスチームの分配を行います。



注: マシンのスイッチがオフの場合、下記の手順も実行できます。

グリルとドリフトレー - この操作は各営業日の終わりごとに実行されなければなりません。

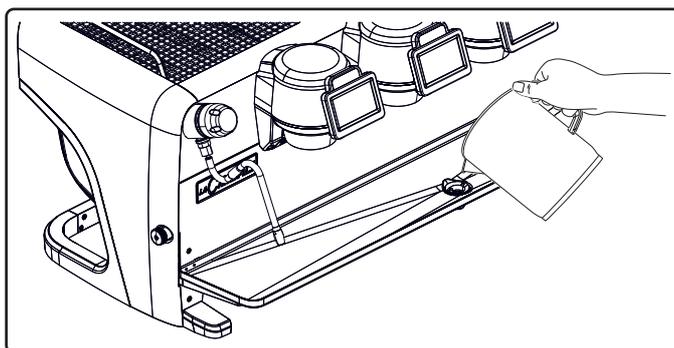
1. グリルをドリフトレーから取り外します。
2. 流水の下でグリルとトレイをすすぎます。



排水トレイ

- この操作は各営業日の終わりごとに実行しなければなりません。

約1リットルのお湯を排水トレイに流し込み、残留物を取り除きます。

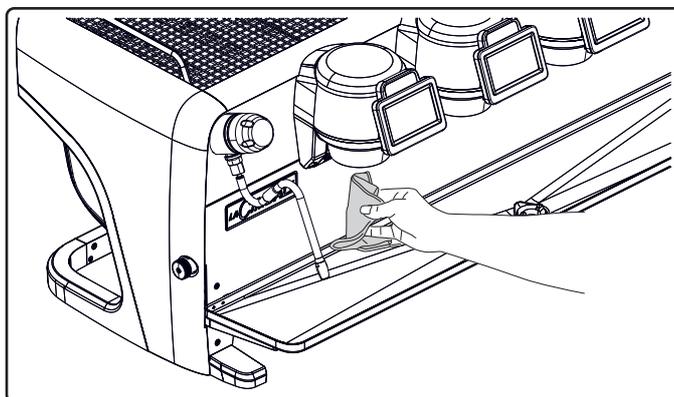


本体構造 - この操作は各営業日の終わりごとに実行されなければなりません。

柔らかい布を使用し、アンモニアや研磨材、あるいは脱脂剤無しのクリーニング用品で、作業領域にある有機残留物を取り除きます。

注: パネルスロットへ液体をスプレーしないでください。

注: 表面上の色が多少変化していても、それはこの製品に独特の特徴であり、欠陥ではありません。





22. 欠陥 - 不具合

顧客による直接行動

サービス担当者に連絡する前に、不必要な出費を防止するため、マシンの問題が下に記載された事例のいずれかに当てはまるかどうかをチェックします。

| 問題 | 原因 | 解決策 |
|-------------------------------------|---|--|
| コーヒーマシンが動作せず、ディスプレイ (Ts) に何も表示されない。 | 電気が供給されていない。 | 電気供給を確認してください。 メイン電源スイッチ (1) の位置をチェックしてください。 |
| フィルターホルダーリム (11) からの漏れ。 | アンダーパンガスケットがコーヒーで汚れている。 | 同梱の専用ブラシを使用して清掃してください。 |
| コーヒーの分配時間が短すぎる。 | コーヒーがあまりに粗く挽かれている。 コーヒーが古すぎる。 | より細かいグラインダーを使用してください。 新しいコーヒーを使用してください。 |
| コーヒーがマシンから滴る。 | フィルターの穴が塞がれている、フィルターホルダー (11) の出口の穴が汚れている。 コーヒーがあまりに細かく挽かれている。 | クリーニングしてください。 より粗いグラインダーを使用してください。 |
| マシンの底部で水が漏れている。 | 排水口が詰まっている。 排水トレイの穴が塞がれている。 | クリーニングしてください。 クリーニングしてください。 |
| マシンは加熱されたが、コーヒーが分配されない。 | 水の供給または硬水軟化剤の栓が閉じている。 システムに水がない。 | 栓を開いてください。 水が利用可能になるまで待つか、配管技術者に連絡してください。 |
| 自動レベルコントロール装置が動作したままになっている。 | 上記と同じ原因です。 | 上記と同じ解決策です。 |

明示メッセージ

タッチスクリーン

| メッセージ | 原因:表示されたとき | 解決策 |
|---|--|--|
| Machine cold, please wait (マシン低温、お待ちください) | 任意の分配アイコンを押すたびにサービスボイラーの圧力があらかじめ設定された作動圧力以下に下がるまでこのメッセージがディスプレイに表示されます。 | サービスボイラーがあらかじめ設定した圧力に達すると、メッセージは自動的に消えます。 |
| Carry out maintenance (メンテナンスの実行) | <p>マシンがメンテナンスを必要とする場合にこのメッセージが表示されます。</p> <p>メッセージを一時的に削除するには、 アイコンを押してプログラミングメニューにアクセスします。</p>  <p>その後、アイコン  を押し、メッセージをキャンセルします。</p>  <p>次回マシンがメインスイッチでオンになった時に、このメッセージが現れます。</p> | <p>認可を受けた技術者に連絡してください。メンテナンスを実行する前に、メッセージが表示されます。</p> <p>注:メンテナンスを実行する必要がある場合、マシンによって記録されます。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| <p>Carry out softner regeneration (硬水軟化剤の再生を実行)</p> | <p>軟化剤樹脂を再生する必要がある場合、このメッセージが表示されます。(硬水軟化剤)の説明書を参照してください。)</p> | <p>硬水軟化剤の再生が完了したら、 アイコンを押してプログラミングメニューにアクセスします。</p>  <p>その後、アイコン  を押し、メッセージをキャンセルします。</p>  <p>注:メンテナンスを実行する必要がある場合、マシンによって記録されます。</p> |
| <p>Change water filter (水フィルターの交換)</p> | <p>このメッセージは、マシンが水フィルターの交換を要求とする時に表示されます。</p> <p>メッセージを一時的に削除するには、 アイコンを押してプログラミングメニューにアクセスします。</p>  <p>その後、アイコン  を押し、メッセージをキャンセルします。</p>  <p>メッセージが、周期的な間隔で再び表示されます。</p> | <p>認可を受けた技術者に連絡してください。フィルターが交換されるまで、メッセージが表示されます。注:フィルターを交換する必要がある場合、マシンによって記録されます。</p> |
| <p>Machine off (マシンオフ)</p> | <p>マシンが自動的にスイッチをオン/オフするようプログラムされた場合、このメッセージが表示されます。メッセージは、マシンがスイッチオフになっており、スタンバイの状態であることを示します。</p> | <p>マシンの自動的なオン/オフのプログラムの方法は、「サービス時間メニュー」のセクションを参照してください。オンにするには、任意の分配キーを押してください。</p> |
| <p>Energy saving mode (省エネモード)</p> | <p>このメッセージは、マシンがエコノミーモードのときに表示されます。</p> | <p>いずれかの分配キーを押してECONOMY (エコノミー)モードを終了し、マシンの作業段階に戻ります。</p> |
| <p>洗浄に関するメッセージ</p> | | <p>詳細については本マニュアルの「クリーニングとメンテナンス」のセクションを参照してください。</p> |



明示メッセージ

自動プッシュボタンストリップ

| メッセージ | 原因:表示されたとき | 解決策 |
|--|---|--|
| Machine cold, please wait (マシン低温、お待ちください) | 任意の分配アイコンを押すたびにサービスボイラーの圧力があらかじめ設定された作動圧力以下に下がるまでこのメッセージがディスプレイに表示されます。 | サービスボイラーがあらかじめ設定した圧力に達すると、メッセージは自動的に消えます。 |
| Carry out maintenance (メンテナンスの実行) | マシンがメンテナンスを必要とする場合にこのメッセージが表示されます。 一時的にメッセージを取り除くには、▶キーを押し、次に◀キーを約8秒間押し下げます。次回マシンがメインスイッチでオンになった時に、このメッセージが現れます。 | 認可を受けた技術者に連絡してください。メンテナンスを実行する前に、メッセージが表示されます。 |
| Carry out softner regeneration (硬水軟化剤の再生を実行) | 軟化剤樹脂を再生する必要がある場合、このメッセージが表示されます。(硬水軟化剤)の説明書を参照してください。) | 軟化剤再生が起きたら、▶キーを押し、次に◀キーを約8秒間押し下げメッセージを取り除きます。 |
| Change water filter (水フィルターの交換) | このメッセージは、マシンが水フィルターの交換を要求する時に表示されます。 一時的にメッセージを取り除くには、▶キーを押し、次に◀キーを約8秒間押し下げます。メッセージが、周期的な間隔で再び表示されます。 | 認可を受けた技術者に連絡してください。フィルターが交換されるまで、メッセージが表示されます。 注:フィルターを交換する必要がある場合、マシンによって記録されます。 |
| Machine off (マシンオフ) | マシンが自動的にスイッチをオン/オフするようプログラムされた場合、このメッセージが表示されます。メッセージは、マシンがスイッチオフになっており、スタンバイの状態であることを示します。 | マシンが自動的にスイッチをオン/オフするようプログラムするには、マニュアルの「カスタマーパラメータ」を参照してください。 いずれかの分配キーを押し、マシンを再度強制的にオンにします。 |
| Energy saving mode (省エネモード) | このメッセージは、マシンが省エネモードのときに表示されます。 | いずれかの分配キーを押して省エネモードを終了し、マシンの作業段階に戻ります。 |
| 洗淨に関するメッセージ | | 詳細については本マニュアルの「クリーニングとメンテナンス」のセクションを参照してください。 |

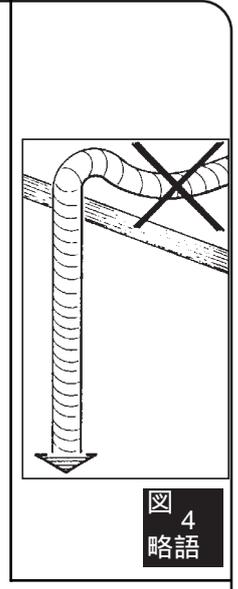
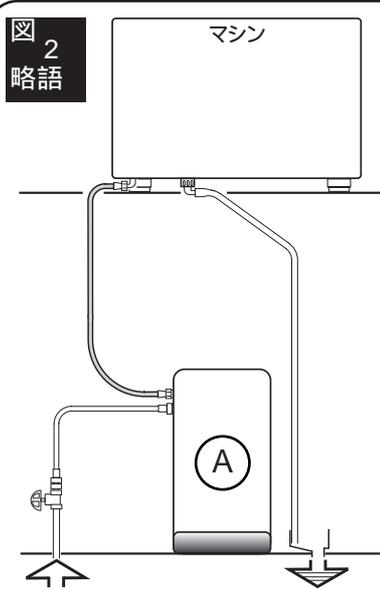
イラスト

- 設置規則の各章を参照

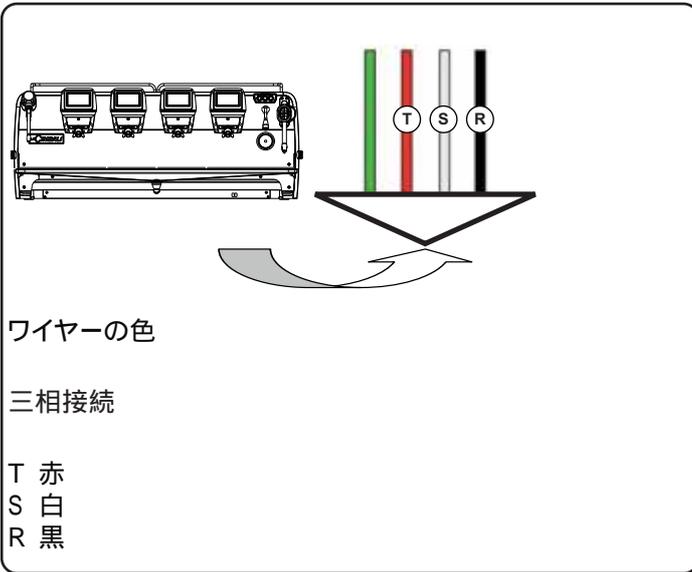


図 1
略語

図 2
略語



A) 可能な水処理装置



ワイヤーの色

三相接続

T 赤
S 白
R 黒

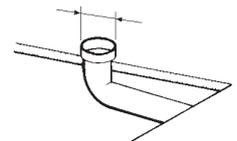
水供給タップの設置
水道本管最大圧力
6 bar - 0.6 MPa
(圧力がこの値を超えている場合、圧力レ
ジューサーを据え付けます。)

Ø 3/8 ガス



図 3
略語

排水管
最小
Ø 50 mm



GRUPPO CIMBALI S.p.A.
Via A. Manzoni, 17
20082 Binasco
(MI) Italy

GRUPPO CIMBALIは、個々の国のニーズに応じて、およびテクノロジー上の進捗状況に基づいてマシンに変更を加える権利を有するものとします。

この出版物はGRUPPO CIMBALI S.p.A.の書面による事前の承諾がない限り、全部、一部に関わらず、使用、コピー、または出版してはいけません。

© Copyright by GRUPPO CIMBALI S.p.A., Milan, Italy
不許複製

サービスライン

GRUPPO CIMBALIおよび「サービスライン」

GRUPPO CIMBALI社のクライアントサービスの目的は、弊社のクライアントに最高のコーヒーマシンのパフォーマンスを常に保証し、この目的のために特別に開発された一連の特殊なクリーニング用製品である弊社のECO LINEを提供することにあります。

ECO LINE - クリーニング用製品

- A) 610-004-159 液状のカプチーノメーカー用
 - B) 610-004-280 粉末のディスペンサー、フィルターホルダー、コーヒーカップ用
 - C) 610-004-254 粉末のディスペンサー、フィルターホルダー、コーヒーカップ用
 - D) 610-004-217 タブレット状のスーパー自動マシンディスペンサー用
 - E) 610-004-251 ホッパー、ディスプレイ - プロフェッショナルクリーニング Eco Cleaner Spray 用。
- 地域の販売代理店に直接注文してください。ご希望のアイテムについて上記の番号を指定してください。

III SERVICE LINE



A



B



C



D



E



メーカーは、この資料で示された器具を通知なく修正する権利を
有するものとします

GRUPPO CIMBALI SpA - 20082 BINASCO (MILANO) ITALY



CERT. NR. 50 100 3685 / 10877 / 11721